

English Logic and Expression I・II

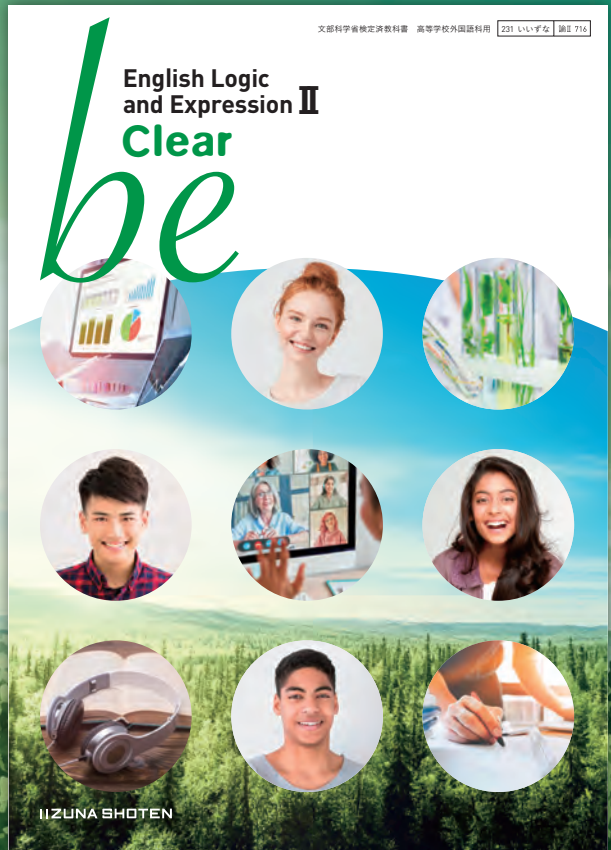
Clear

be

1
文法を軸に
表現力の基礎を
養成

2
演習 → 発信活動
のスムーズな
橋渡し

3
英語で表現し、
伝え合う力を
つける演習問題



令和6~9年度用
論理・表現 I・II
教科書
ダイジェスト版

LINEUP

論理・表現 教科書ラインアップ

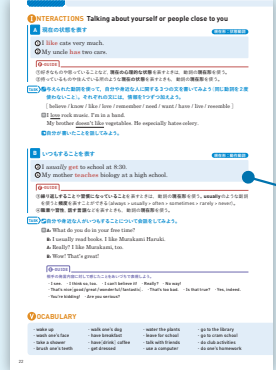
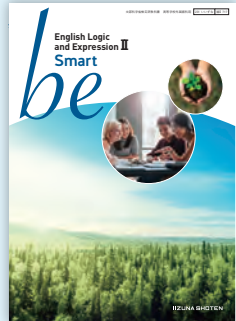
目標と学力に応じた選択が可能な3レベル

★★★ 標準～発展 be Smart | 文法の定着を図り 発信力を養う

Point

論理・表現 I

論理・表現 II



I の掲載例文は 対応の各参考書と 完全一致!

B いつもすることを表す
 ① I usually **get** to school at 8:30.
 ② My mother **teaches** biology at a high school.

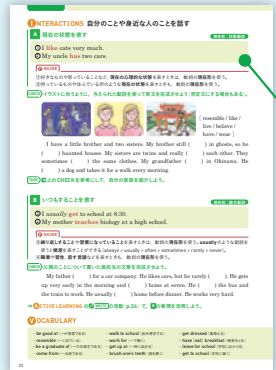
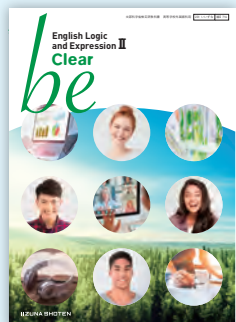
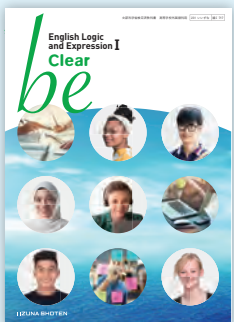
対応 参考書



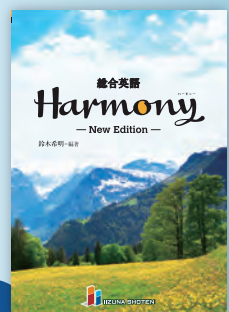
★★ 標準 be Clear | 基礎を固めて 表現力を身につける

論理・表現 I

論理・表現 II



A 現在の状態を表す
 ① I **like** cats very much.
 ② My uncle **has** two cars.



★ 基礎 Harmony | 楽しく英語を使いながら 文法力を身につける

論理・表現 I

論理・表現 II



対応 参考書

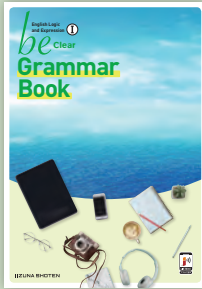
B 「～しなければならぬ/すべきだ」と伝える
 ① We **must** obey the school rules.
 ② You **don't have to** wear a uniform today.
 ③ You **should** return the book to the library.
 F Check

関連教材ラインアップ

さまざまな授業スタイル・授業目的をカバーする
生徒用、指導用の多彩なバックアップ教材

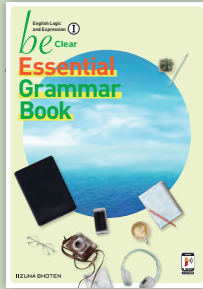


生徒用



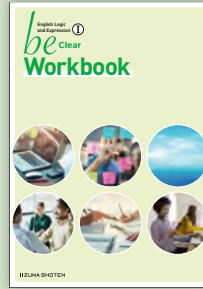
**Grammar Book
I/II**

文法学習
徹底サポート



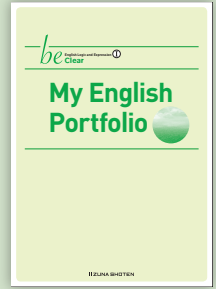
**Essential
Grammar Book I**

Grammar Bookを
コンパクトに



**Workbook
I/II**

アウトプットの
基礎力養成



**My English
Portfolio I/II**

教科書学習の
伴走として



デジタル教科書/
デジタル教科書（教材）
[共にクラウド版]

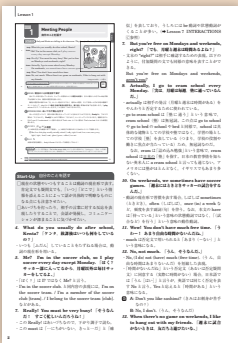


生徒用音声 CD

I/II：各2枚組



指導用



指導資料セット I/II

- ① 指導書本冊
*単体(PDF)でのご用意もございます。
- ② Teacher's Book
● 解説+英語での授業展開
*単体でのご用意もございます。
- ③ 補助プリント
● Grammar導入シート
● SHARE/WRITEワークシートなど
- ④ 小テスト・評価問題
● 各課・単元の習熟度確認
- ⑤ 指導用データDVD-ROM
● 授業や課題に使用できる
プリント類
● 教科書本文・和訳データ
● 指導用パワーポイント・
テストクリエイター



デジタル教科書（教材）
[アプリ版/クラウド版]



指導用音声 CD

I：8枚組/II：6枚組



1 導入 (1 頁目)

2 定着 (2, 3 頁目)

3 発展 (4 頁目) の
3 ユニット構成。

1 文法・機能表現を含むモデル会話

2 文法解説と CHECK (文法問題)・TASK (活動)

3 文法・機能表現を使った自己発信活動を通して、
論理的に表現する力が身につく。

1 モデル会話で導入

LESSON
1

Meeting People

自分のことを話す

Start-Up ▶ 学校の近くで、登校中の Mike と Shota が会いました。

Mike: Good morning, Shota!

Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?

Mike: No. I live far from here, so I usually take the train. It takes about an hour.

Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I can walk to school. It only takes ten minutes.

Mike: Oh, really! You're lucky! I don't like the long train ride.



Tips for Better Communication ▶ 相手からの問いかけに答えたら、もう1つ情報を加えましょう。会話にリズムが生まれ、その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。



FORMS 現在のことは現在形で表す

現在のことを伝えるときには、動詞の現在形を使います。現在形を使うと、住んでいる所のような現在の状態や、いつもすることを表すことができます。

I live far from here.

I take the train.

このような文の動詞の現在形が表すのは、「今」を中心として、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school? であれば、今現在だけのことではなく、「いつも徒歩通学なの?」とたずねているのです。

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

Oh, really! のようなあいづちを打つことで、「そうなんだ!」と相手の話に関心をもちていることを伝えることができます。Really? なら「そうなの?」というニュアンスです。

☞ "I got a new smartphone yesterday." "Really? The newest model?"

SOUNDS /l/ と /r/ の発音

/l/ は舌先を上唇の歯茎にあてて発音し、/r/ は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。

live, lucky, like, long, play, usually, only, school / really, ride, from, train, friend, free, every light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し、Mike と Shota になって会話を見てみよう!

Pick-Up

「学校には 電車て来ます」と言うとき、交通手段を表す by を使った I come to school by train. でも通じますが、I take the train. とすると英語らしい表現になります。バスや自転車なら I take the bus. / I ride my bike [bicycle]. という表現を使います。徒歩通学であれば I walk to school. が自然な表現です。

1 UNIT

2 文法項目の確認と定着

INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す

現在形: 状態動詞

- ① I like cats very much.
- ② My uncle has two cars.

G-GUIDE

- ①「〜が好きだ」「〜だと思う」のように現在の心理的な状態を表すときは、動詞の現在形を使う。
- ②「〜を持っている」「〜に住んでいる」のように現在の状態を表すときは、動詞の現在形を使う。

CHECK ▶ イラストに合うように、与えられた動詞を使って英文を完成させよう (否定文にする場合もある)。



[resemble / like / live / believe / have / wear]

I have a little brother and two sisters. My brother still () in ghosts, so he () haunted houses. My sisters are twins and really () each other. They sometimes () the same clothes. My grandfather () in Okinawa. He () a dog and takes it for a walk every morning.

TASK ▶ 上の CHECK を参考にして、自分の家族を紹介しよう。

B いつもすることを表す

現在形: 動作動詞

- ① I usually get to school at 8:30.
- ② My mother teaches biology at a high school.

G-GUIDE

- ① 繰り返すことや習慣になっていることを表すときは、動詞の現在形を使う。usually のような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ② 職業や習性、話す言語などを表すときは、動詞の現在形を使う。

CHECK ▶ 父親のことについて書いた高校生の文章を完成させよう。

My father () for a car company. He likes cars, but he rarely (). He gets up very early in the morning and () home at seven. He () the bus and the train to work. He usually () home before dinner. He works very hard.

▶ **ACTIVE LEARNING** の G WRITE の活動 (p.24) で、B の表現を活用しよう。

VOABULARY

- ・ be good at (〜が得意である)
- ・ resemble (〜に似ている)
- ・ be a graduate of (〜の卒業生である)
- ・ come from (〜出身である)
- ・ walk to school (徒歩通学する)
- ・ work for (〜で働く)
- ・ get up at (〜時に起きる)
- ・ brush one's teeth (歯を磨く)
- ・ get dressed (着替える)
- ・ have [eat] breakfast (朝食をとる)
- ・ leave for school (学校に出かける)
- ・ get to school (学校に着く)

INTERACTIONS

4 つの文法項目を軸として、コミュニケーションに必要な知識と技能を身につけます。

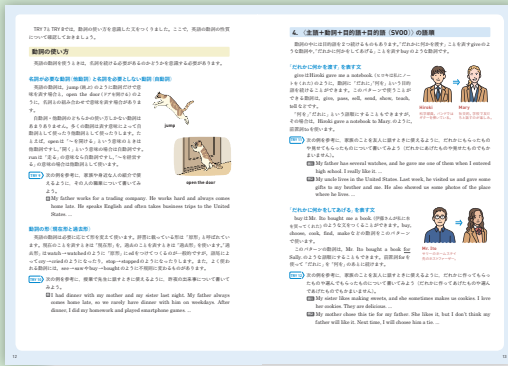
CHECK ▶ 文法の確認問題で、言語活動の準備をします。

TASK ▶ 「話す (発表・やり取り)」「書く」の言語活動を通して、思考、判断、表現の力を養います。

Introductionで 5文型と品詞の基礎を学ぶ

本課を学ぶ前に、英語の基礎を体系的に学習できる。

- 5文型の詳しい解説
- 品詞の理解



INTERACTION

A 現在の状態を表す

- ① I like cats very much.
- ② My uncle has two cats.

G-GUIDE

が記さ

A ~ D 4つの文法項目と基本例文で学習

C している最中のことを表す

- ⑤ I'm writing an essay for my English class.
- ⑥ I think my cat is getting fat.

G-GUIDE

- ⑤ している最中のことを表すときは、現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。
- ⑥ 変化している途中のことや一時的な状態を表すときは、現在進行形を使う。

CHECK 2人の会話を聞いて、空所を埋めよう。

Kenta and Andy are talking on the phone.
Kenta: What are () ()?
Andy: () () a poster for my presentation. I have to finish it tonight, but I'm () tired.
Kenta: That's too bad. Tom and I () () games online now, but we can help you.
Andy: Really? That's very kind of you!

TASK 上のCHECKの会話を参考にして、電話をかけているという設定で会話をしてみよう。その際、時間帯は休日や夜など自由に設定しよう。

G-GUIDE

- 相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。
- ・ I see. (なるほど) ・ Yes, indeed. (確かに) ・ I think so, too. (私もそう思います)
- ・ I can't believe it! (信じられない!) ・ Really? (本当?) ・ No way! (ありえない!)
- ・ That's nice/good/great/wonderful/fantastic! (それはいい!)
- ・ That's too bad. (それはお気の毒に)
- ・ I'm sorry to hear that. (それは残念です) ・ You're kidding! (冗談でしょ!) ・ Are you serious? (本当は?)

D これからの予定を表す

- ⑦ My grandmother is visiting us tomorrow.

G-GUIDE

- ⑦ これからしようとしている個人的な予定を表すときに、現在進行形を使うことができる。

TASK 今日午後、または週末の予定について会話をしてみよう。

A: What are you doing after class?
B: I'm meeting Chris to talk about our plan for this weekend.
A: Are you going somewhere?
B: Yes. We are going cycling.

- ・ do club activities (部活動をする)
- ・ go to cram school (塾に行く)
- ・ come [get] home (家に帰る)
- ・ a haunted house (お化け屋敷)

- Self-Check (できることに✓を入れよう)
- 現在の状態を表すことができる。
 - いつものことを表すことができる。
 - している最中のことを表すことができる。
 - これからの予定を現在進行形で表すことができる。

TASK 今日午後、

例 A: What are you doing after class?
B: I'm meeting Chris to talk about our plan for this weekend.
A: Are you going somewhere?
B: Yes. We are going cycling.

項目ごとに設定されたTASKで理解を深める

3 応用としての自己発信

A ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

- ① クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。
- Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport [food/color]?

② インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。

He/She _____ went to _____ to school.
He/She _____ in his/her free time.
His/Her favorite _____

③ グループになって、インタビューしたクラスメイトのことをほかの人に紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

WRITE 「朝の習慣」について書こう

① 自分が朝していることを書き出そう。

- I get up at 6:00. I get dressed. I eat breakfast. I ride my bike to school. It takes fifteen minutes.

② 接続詞 (and, but, when) や副詞 (first, then) などを使って、時間の流れにそって自分の朝の習慣を文章にしてみよう。

- I usually get up at 6:00. First, I get dressed and then take my dog for a walk. After that, I eat breakfast and brush my teeth. Then I leave for school at 7:15.

Self-Check

- インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。
- 朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。
- よくできた。
- まあまあできた。
- あまりできなかった。

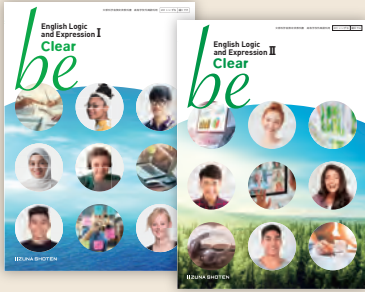
L LOGICAL THINKING

自分のことを伝えるときに、I like playing the piano. I read many books.のように事実を並べるだけではつながらない文章になってしまいます。I like playing the piano. I really love classical music.のように前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。

ACTIVE LEARNING

設定されたテーマにそって話す・書くという発信活動を行うことで、論理的に考え、判断し、表現する力を身につけます。

教科書 be Clear / Smart の比較



Clear
 レベル★★
 標準レベル
 文法の確認と
 定着



Smart
 レベル★★★★
 標準～発展レベル
 文法の知識を
 言語活動に応用

各レッスンの違い

		Clear		Smart	
頁	該当部	I	II	I	II
① 導入	Start-Up	● 2.5 往復の会話 ● 和訳あり (巻末)	● 90～110 語程度の英文 ● 和訳あり (巻末)	● 3 往復の会話 ● 和訳なし	● 100～130 語程度の英文 ● 和訳なし
	例文と解説	● 7 基本例文 ● 例文の和訳あり (巻末) ● 基本的な学習項目をカバー	● 6～8 基本例文	● 8 基本例文 ● 例文は英文のみ ● 基本+発展的な学習項目をカバー	
INTERACTIONS	CHECK TASK	● 文法の確認問題 CHECK 多め ● 指示文日本語		● 「やり取り」「発表」「書く」の TASK 多め ● 指示文日本語	● すべて英語
	VOCABULARY	● 語句の和訳あり		● 語句の和訳なし ● より多くの語句を紹介	
③ 発展	SHARE	● スモール・ステップを踏んで、グループでの「やり取り」「発表」の活動につなげる ● 指示文日本語		● 例文を示し、グループでの「やり取り」「発表」の活動につなげる ● 指示文日本語	● すべて英語
	WRITE	● スモール・ステップで「書く」練習	● ヒントを参考に 50 語～80 語の英文を「書く」活動	● 空所補充問題で作文例を示し、まとまった英文を「書く」活動につなげる	● ヒントを参考に 80 語～140 語の英文を「書く」活動
		● 手紙・日記などさまざまな状況での「書く」活動 ● 指示文日本語		● エッセイ・説明文などさまざまな状況、形式の英文を「書く」活動	
	INTERVIEW	—	● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる	—	● トピックに関連した問いに自分の意見を述べる

be English Logic and Expression I/II 著作者

■ 平賀 正子
 立教大学名誉教授

■ 鈴木 希明
 中京大学特任講師

■ 前中 猛
 白陵中学校・高等学校教諭

■ 伊藤 清
 名古屋中学校・高等学校教諭

■ 谷口 幸夫
 明星大学講師・達ゼミHybrid代表

■ 田中 孝典
 静岡県立焼津中央高等学校教諭

■ 川又 克己
 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭

■ 萱原 雅弘
 元東京家政学院大学教授

英文法の基本と論理的な思考を学び、
自分のことが表現できる力を養成する。

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論I 717

English Logic and Expression I Clear be



IIZUNA SHOTEN

Contents

Introduction 「やり取り」「発表」「書く」のためのウォーミングアップ

- Step 1: 自分のことを表そう!** p.7
 [英語の語順] 1. 主語+動詞 2. 主語+動詞+補語 3. 主語+動詞+目的語 4. 主語+動詞+目的語+目的語 5. 主語+動詞+目的語+補語
 名詞の使い方/形容詞と副詞の使い方/動詞の使い方
- Step 2: 情報を聞き出そう!** p.15
 [英語の文の種類] 1. 平叙文 2. 疑問文
- Step 3: 文章にまとめて発表しよう!** p.18
 [英語の文のつなぎ方] 1. 文と文をつなぐ接続詞 2. 文を文に組み込む・加える接続詞

文法を軸としたレッスン構成

1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す

Point 動詞の形・時制

LESSON 1 Meeting People 自分のことを話す pp.21-24

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 現在のことは現在形で表す

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

SOUNDS /l/と/t/の発音

ALK

INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す *現在形: 状態動詞*

B いつもすることを表す *現在形: 動作動詞*

C している最中のことを表す *現在進行形*

D これからの予定を表す *現在進行形: 予定*

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
 Introducing Yourself

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

WRITE 「朝の習慣」について書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 2 Holidays and Weekends 休日・週末にしたことを話す pp.25-28

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 過去のことは過去形で表す

EXPRESSIONS 相手の発言を聞き直す

SOUNDS thの発音

ALK

INTERACTIONS 休日や休暇中のことを話す

A 過去の状態や出来事を表す *過去形*

B している最中だったことを表す *過去進行形*

C ひとつのことなのかを接続詞を使って表す *過去形・過去進行形*

D 昔よくしていたこと・今とは違う過去の状態を表す *used to*

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
 Happy Memories

SHARE 楽しかった思い出について話そう

WRITE 日記を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 3 Making Plans 予定について話す pp.29-32

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 未来のことを will や be going to で表す

EXPRESSIONS 詳しい情報をたずねる

SOUNDS つながる音と消える音

ALK

INTERACTIONS これからのことを話す

A しようと思うこと・そうなると思うことを表す *will*

B するつもりであることを表す *be going to*

C しているであろうこと・することになっていることを表す *will be + ing形*

D 「～したら」「～なら」を接続詞を使って表す *whenやifのあとの現在形*

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
 Making Plans

SHARE 休日の予定を立てよう

WRITE 休日の予定をまとめよう

LOGICAL THINKING

LESSON 4 Travel 旅行について話す pp.33-36

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 今とつながりがあることを現在完了形で表す

EXPRESSIONS 話を切り出す

SOUNDS /t/と/v/の発音

ALK

INTERACTIONS 旅行や移動について話す

A 完了していること・その結果としての状況を表す *現在完了形: 完了・結果*

B 今までの経験を表す *現在完了形: 経験*

C 継続している状態・継続している動作を表す *現在完了形・現在完了進行形: 継続*

D 過去のことであることを示す *現在完了形と過去形*

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
 Posting about Travel

SHARE 旅の写真を投稿しよう

WRITE 旅してみたい場所について書こう

LOGICAL THINKING

- KEEP TALKING Scene ①** 移動する p.37
- Communication TIPS ①** 言外の意味 p.38

LESSON 5 Study and Activities 学習・課外活動について話す pp.39-42

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 過去のある時点までのことを過去完了形で表す

EXPRESSIONS 相手に同意を求めめる

SOUNDS /p/と/b/の発音

ALK

INTERACTIONS 学習や学校での活動について話す

A 完了していたこと・経験していたことを表す *過去完了形: 完了・経験*

B 継続していたことを表す *過去完了形・過去完了進行形: 継続*

C 過去のある時点より前のことを表す *過去完了形: 大過去*

D 未来のある時点までのことを表す *will have + 過去分詞*

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING
 My Achievements

SHARE 達成した事柄について話そう

WRITE 達成した・達成できなかった経験について書こう

LOGICAL THINKING

- 1st Zone REVIEW** 時と状況の表し方(動詞の形) p.43

2nd Zone 日々の生活のことを話す

Point 助動詞・受動態

LESSON 6 Food Culture 食文化について話す

pp.45-48

Start-Up ▶ Conversation

FORMS できることを can を使って表す

EXPRESSIONS お礼を言う

SOUNDS /t/と/d/の発音

TALK

INTERACTIONS 食べ物や食事について話す

A できること・できないことを表す

can / be able to

B 可能性があること・ないことを表す

can / can't

C 「してもよい」という許可や「そうかもしれない」という推量を表す

may / might

D 過去のことについての推量を表す

may [might] have + 過去分詞

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

Food Culture

SHARE さまざまな国や地域の食習慣について知ろう

WRITE 海外からの旅行者に日本の習慣やマナーを説明しよう

LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ② 食事をする p.49

KEEP TALKING Scene ③ 買い物をする p.50

LESSON 7 School Life 学校生活について話す

pp.51-54

Start-Up ▶ Conversation

FORMS しなければならないこと・すべきことを表す

EXPRESSIONS 理由をたずねる

SOUNDS /u/と/u:/の発音

TALK

INTERACTIONS 学校生活のことを話す

A しなければならないことを表す

must / have to

B すべきことを表す

should / had better

C 確信していることや推測を表す

must / should

D 過去のことについての確信や後悔を表す

must/should have + 過去分詞

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

School Rules

SHARE 学校の規則について話そう

WRITE 学校の規則についての意見を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 8 Daily Life 日常生活について話す

pp.55-58

Start-Up ▶ Conversation

FORMS would を使って依頼をする

EXPRESSIONS 依頼を受け入れる・断る

SOUNDS /s/の発音

TALK

INTERACTIONS 日常生活について話す

A 意志があることを表す

will / would

B 過去によくしたことを表す

would often

C そうだろうと思っていることを表す

would

D 依頼や提案内容を表す

will / can / shall

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

Special Events

SHARE 友だちをイベントに誘おう

WRITE イベントを企画しよう

LOGICAL THINKING

KEEP TALKING Scene ④ 道をたずねる p.59

KEEP TALKING Scene ⑤ 電話で話す p.60

LESSON 9 Transportation Issues 交通機関の問題について話す

pp.61-64

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 「される」「された」を受動態で表す

EXPRESSIONS 話しかける

SOUNDS 語尾の ed の発音

TALK

INTERACTIONS 交通や建造物のことを話す

A 何かをされた・されることを表す

受動態の基本形

B 何が・いつ・どこでされたのかをたずねる

受動態の疑問文

C 受動態で進行中の意味や完了形の意味を表す

進行形・完了形の受動態

D 感情を受動態で表す

感情を表す受動態

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

Road Safety

SHARE 交通上の安全について考えよう

WRITE 安全向上のために「市長への手紙」を書こう

LOGICAL THINKING

2nd Zone REVIEW 助動詞の意味と受動態の使い方 p.65

スピーチをしてみよう! p.66

3rd Zone したいことやしていることを話す

Point 不定詞・動名詞・分詞

LESSON 10 Future Activities 将来したい活動について話す

pp.69-72

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 「～すること」を不定詞で表す

EXPRESSIONS 励ます

SOUNDS /g/と/gg/の発音

TALK

INTERACTIONS 将来のことを話す

A 「～すること」を主語や補語として表す

不定詞の名詞用法: 主語・補語

B 「～すること」を目的語として表す

不定詞の名詞用法: 目的語

C 疑問詞と不定詞で「何をすべきか」のような意味を表す

疑問詞+不定詞

D だれがするのかを示す・「～しないこと」を表す

不定詞の意味上の主語と否定語

VOCABULARY

ACTIVE LEARNING

Future Activities

SHARE 将来してみたい活動について話そう

WRITE 「ボランティア募集」の告知文を書こう

LOGICAL THINKING

LESSON 11 Staying Healthy 健康について話す

pp.73-76

Start-Up Conversation

- F**ORMS 情報を加えるために不定詞を使う
- E**XPRESSIONS 具合をたずねる
- S**OUNDS /ɪ/と/i:/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 健康や運動について話す

- A** 「～すべき」「～するための」という説明を名詞に加える
不定詞の形容詞用法
- B** 「～するために」という目的を表す
不定詞の副詞用法：目的
- C** 「～したことで」という原因や根拠を表す
不定詞の副詞用法：原因・根拠
- D** 形容詞に不定詞を続ける
形容詞+不定詞

ACTIVE LEARNING

- Staying Healthy
- S**HARE 具合の悪くなった友だちにアドバイスをしよう
- W**RITE 予防キャンペーンの呼びかけをしよう

LOGICAL THINKING

- KEEP TALKING Scene 6** 病院に行く p.77
- Communication TIPS 2** ノンバーバル・コミュニケーション p.78

LESSON 12 New Products 新しい製品について話す

pp.79-82

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「人に～することを…」を不定詞で表す
- E**XPRESSIONS 勧誘する
- S**OUNDS /m/と/n/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 電化製品について話す

- A** 「人に～してほしい・することを許す」を表す
SVO+不定詞
- B** 「人に～してもらう・させる」を表す
使役動詞+名詞+動詞の原形
- C** 「人・何が～するのを見る」を表す
知覚動詞+名詞+動詞の原形
- D** 不定詞を進行形・受動態・完了形で使う
不定詞の進行形・受動態・完了形

ACTIVE LEARNING

- New Products
- S**HARE 便利な電化製品を紹介しよう
- W**RITE 広告文を書こう

LOGICAL THINKING

VOCABULARY

LESSON 13 Hobbies and Interests 趣味・関心について話す

pp.83-86

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「～すること」を動名詞で表す
- E**XPRESSIONS 同じだと言う
- S**OUNDS /k/と/g/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 趣味や興味をもっていることについて話す

- A** 「～すること」を主語や補語として表す
動名詞：主語・補語
- B** 「～すること」を目的語として表す
動名詞：目的語
- C** だれがするのかわを示す・「～しないこと」を表す
動名詞の意味上の主語と否定語
- D** 動名詞を受動態・完了形で使う
動名詞の受動態・完了形

ACTIVE LEARNING

- Sharing Interests
- S**HARE 趣味や興味について話そう
- W**RITE Show & Tell をしよう

LOGICAL THINKING

- EXTENSION** 趣味や興味を将来の夢につなげよう! p.87
- Communication TIPS 3** 相手に応じたことばづかい p.88

LESSON 14 The World of Nature 自然について話す

pp.89-92

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「～する」「～された」という状況を分詞で説明する
- E**XPRESSIONS 感情を表す
- S**OUNDS /ʌ/と/ə/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 自然や動植物のことを話す

- A** 「～する」「～された」という説明を名詞に加える
分詞の限定用法
- B** 分詞形の形容詞を使う
分詞形容詞
- C** keep や remain に分詞を続けて「～のまま」を表す
分詞の叙述用法
- D** 分詞を使って状況を表す
分詞を使う表現

ACTIVE LEARNING

- The World of Nature
- S**HARE 旅行先のレビューを投稿しよう
- W**RITE 自然を楽しめる場所についてのレビューを書こう

LOGICAL THINKING

VOCABULARY

LESSON 15 Trouble and Accidents トラブル・事故について話す

pp.93-96

Start-Up Conversation

- F**ORMS 「何かを～される」を分詞を使って表す
- E**XPRESSIONS 同情・共感を表す
- S**OUNDS /əɪ/と/əːr/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 事件や事故、困ったことについて話す

- A** 「人・何かを～させる・される」を表す
SVO+分詞
- B** 「人・何か～している・されるのを見る」を表す
知覚動詞+名詞+分詞
- C** 分詞を使って情報を加える
分詞構文
- D** その時点での状況を with を使って表す
with+名詞+分詞

ACTIVE LEARNING

- Reporting News
- S**HARE ニュースの書き方に親しもう
- W**RITE 出来事を伝える文を書こう

LOGICAL THINKING

VOCABULARY

- 3rd Zone REVIEW** 準動詞(不定詞・動名詞・分詞)のはたらき p.97
- パラグラフを書いてみよう! p.98

4th Zone 説明する・自分の考えを話す

Point 関係詞・比較・仮定法

LESSON 16 Inventions 発明について話す

pp.101-104

Start-Up Conversation

- F**ORMS 関係代名詞を使って名詞に説明を続ける
- E**XPRESSIONS 感想をたずねる
- S**OUNDS /s/の発音
- T**ALK

INTERACTIONS 発明や偉業について話す

- A** それは何をするのか説明を続ける
関係代名詞：主格
- B** 人・何か～それをどうするのか説明を続ける
関係代名詞：目的格
- C** 関係代名詞を前置詞の目的語として使う
前置詞と関係代名詞
- D** 関係代名詞 what を使って「～すること」を表す
関係代名詞：what

ACTIVE LEARNING

- Developing Ideas
- S**HARE 偉人を紹介しよう
- W**RITE 発明品を考えよう

LOGICAL THINKING

VOCABULARY

LESSON 17 Cities and Towns 都市・町について話す pp.105-108

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 関係副詞を使って名詞に説明を続ける

EXPRESSIONS 感情を伝える

SOUNDS /ɑ/と/ou/の発音

TALK

INTERACTIONS 都市や町などについて話す

A 場所について説明する

B 時について説明する

C 「～する理由」「～する方法」を表す

D 「何でも・いつでも」を表す

VOCABULARY

関係副詞: where

関係副詞: when

関係副詞: why / how

複合関係詞

ACTIVE LEARNING

Cities and Towns

SHARE 都市や町を紹介しよう

WRITE 都市や町の魅力を伝えよう

LOGICAL THINKING

EXTENSION 世界の都市と観光名所 p.109

EXTENSION 都市や偉人の説明をしよう! p.110

EXTENSION 世界の偉人たち p.111

論理的に考えてみよう! p.112

ディベートをしてみよう! p.114

Communication TIPS④ 話の展開のしかた p.116

LESSON 18 Living Environment 生活環境について話す pp.117-120

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 形容詞や副詞を使って比較する

EXPRESSIONS 存在を伝える

SOUNDS /æ/の発音

TALK

INTERACTIONS 生活環境について話す

A 比べる相手と同じくらいであることを表す

B 比べる相手との差を倍数や分数で表す

C 比べる相手と差があることを表す

D どの状況と比べているか・何と比べているかを示す

VOCABULARY

原級を使う比較

倍数や分数を使う比較

比較級を使う比較

比較対象の示し方

ACTIVE LEARNING

Comparing Opinions

SHARE 都会と地方のメリットとデメリットを考えよう

WRITE 意見と理由をまとめよう

LOGICAL THINKING

EXTENSION データを分析しよう p.125

プレゼンテーションをしてみよう! p.126

EXTENSION 社会問題について考えよう p.128

LESSON 19 Social Problems 社会問題について話す pp.121-124

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 形容詞や副詞の最上級を使って「最も～」を表す

EXPRESSIONS 提案する

SOUNDS 語尾の s の発音

TALK

INTERACTIONS 社会問題や環境問題について話す

A ほかのどれよりも上回っていることを表す

B 「最も～なひとつ」「2番目に～な」を表す

C 「ほかのどれも～ない」で最上級の意味を表す

D 「できるだけ」「～すればするほど」を表す

VOCABULARY

最上級を使う比較

最上級を使う表現

原級・比較級の表現

比較の表現

ACTIVE LEARNING

Making an Analysis

SHARE スマートフォンのつきあい方考えよう

WRITE ソーシャルメディアの利用について意見をまとめよう

LOGICAL THINKING

EXTENSION データを分析しよう p.125

プレゼンテーションをしてみよう! p.126

EXTENSION 社会問題について考えよう p.128

LESSON 20 Making a Wish 願い事について話す pp.129-132

Start-Up ▶ Conversation

FORMS 動詞の過去形を使って仮定の話をする

EXPRESSIONS したいことを言う

SOUNDS /ɔ:/の発音

TALK

INTERACTIONS 想像や願望について話す

A 現実とは違うことや実現しそうにないことを表す

B 過去の事実とは違うことを表す

C wish や If only を使って願望を表す

D 「まるで～のように」を表す

VOCABULARY

仮定法過去

仮定法過去完了

I wish / If only

as if

ACTIVE LEARNING

Making a Wish

SHARE 願望を話そう

WRITE 今年度の反省点と来年度の抱負を書こう

LOGICAL THINKING

4th Zone REVIEW 関係詞の使い方と比較の文と仮定法の文のつくり方 p.133

ディスカッションをしてみよう! p.134

付録: 群動詞(句動詞) p.136

Start-Up 会話日本語訳 p.138

Interactions 例文・日本語訳 p.142

発音記号と発音のしかた p.148

Functional Index(機能別さくいん) p.150

Lexical Index(語い別さくいん) p.151

QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることでモデル会話や発音、例文などの音声を聞いたり、発音の動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



1st Zone

自分のことや身近な人のことを話す

1st Zoneでは、自分のことや身近な人のことを話すことができるようにします。自分や家族のことを紹介したり、週末や休日にしたこと、今後の予定、旅行の思い出、そして学習や課外活動について話したりします。

ペアやグループで会話をするときには、相手の話をよく聞いて、それに反応したり問いかけたりすることで会話が続くようにしましょう。文章を書いたり発表したりするときには、自分の伝えたいことが伝わるような正しい英語になっているかどうか、相手に伝わるような話し方ができているのかも意識しましょう。このZoneでは、いつのことを表すのかに注意して、英語の動詞を正しい形で使えるようにします。

LESSON 1 自分のことを話す

LESSON 2 休日・週末にしたことを話す

LESSON 3 予定について話す

LESSON 4 旅行について話す

LESSON 5 学習・課外活動について話す

LESSON
1

Meeting People

自分のことを話す

LESSON 1

I

Start-Up ▶ 学校の近くで、登校中のMikeとShotaが会いました。**Mike:** Good morning, Shota!**Shota:** Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?**Mike:** No. **I live far from here**, so **I usually take the train**. It takes about an hour.**Shota:** An hour? Wow! I live nearby, so I can walk to school. It only takes ten minutes.**Mike:** **Oh, really!** You're lucky! I don't like the long train ride.**Tips for Better Communication**

相手からの問いかけに答えたら、もう1つ情報を加えましょう。会話にリズムが生まれ、その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。



文法の解説

FORMS 現在のことは現在形で表す

現在のことを伝えるときには、**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと、住んでいる所のような現在の状態や、いつもすることを表すことができます。

I **live** far from here.I **take** the train.

このような文の動詞の現在形が表すのは、「今」を中心として、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば、今現在だけのことではなく、「いつも徒歩通学なの?」とたずね

会話中の機能表現

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

Oh, really! のようなあいづちを打つことで、「そうなんだ!」と相手の話に関心をもっていることを伝えることができます。Really?なら「そうなの?」というニュアンスです。

例 “I go **QRコードで動画解説** rday.” **Really?** The newest model?”

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつげず舌全体をうしろに引いて発音します。

▶ live, lucky, like, long, play, usually, only, school / really, ride, from, train, friend, free, every light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct

TALK

会話の内容を確認し、MikeとShotaになりきって会話をしてみよう!

会話中の英語らしい表現

Pick-Up

「(学校には) 電車 comes」と言うとき、交通手段を表すbyを使ったI come to school by train. でも通じますが、**I take the train.** とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike [bicycle]. という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。

2. 定着 文法・表現の理解と定着

7つの例文と簡潔な解説で、文法と表現のしかたを学習

I INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す

現在形：状態動詞

- ① I **like** cats very much.
- ② My uncle **has** two cars.

F-GUIDE

文法 (FORMS) の解説

- ①「～が好きだ」「～だと思う」のように現在の心理的な状態を表すときは、動詞の現在形を使う。
- ②「～を持っている」「～に住んでいる」のように現在の状態を表すときも、動詞の現在形を使う。

CHECK イラストに合うように、与えられた動詞を使って英文を完成させよう(否定文にする場合もある)。

文法の
確認と定着



[resemble / like /
live / believe /
have / wear]

I have a little brother and two sisters. My brother still () in ghosts, so he () haunted houses. My sisters are twins and really () each other. They sometimes () the same clothes. My grandfather () in Okinawa. He () a dog and takes it for a walk every morning.

TASK 上のCHECKを参考にして、自分の家族を紹介しよう。

「やり取り」「発表」「書く」の言語活動

B いつもすることを表す

現在形：動作動詞

- ③ I *usually* **get** to school at 8:30.
- ④ My mother **teaches** biology at a high school.

F-GUIDE

- ③ 繰り返すことや習慣になっていることを表すときは、動詞の現在形を使う。**usually**のような副詞を使うと頻度を表すことができる(always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ④ 職業や習性、話す言語などを表すときも、動詞の現在形を使う。

CHECK 父親のことについて書いた高校生の文章を完成させよう。

My father () for a car company. He likes cars, but he rarely (). He gets up very early in the morning and () home at seven. He () the bus and the train to work. He usually () home before dinner. He works very hard.

⇒ **ACTIVE LEARNING** の **WRITE** の活動 (p. 24) で **B** の表現を活用しよう。

V VOCABULARY

レッスンのテーマについて
発信する際に役立つ語彙

- be good at (～が得意である)
- resemble (～に似ている)
- be a graduate of (～の卒業生である)
- come from (～出身である)
- walk to school (徒歩通学する)
- work for (～で働く)
- get up at (～時に起きる)
- brush one's teeth (歯を磨く)
- get dressed (着替える)
- have [eat] breakfast (朝食をとる)
- leave for school (学校に出かける)
- get to school (学校に着く)



C している最中のことを表す

現在進行形

- ⑤ I'm **writing** an essay for my English class.
- ⑥ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE

- ⑤ している最中のことを表すときは、**現在進行形** (am/are/is + 動詞のing形) を使う。
- ⑥ 変化している途中のことや一時的な状態を表すときも、**現在進行形** を使う。

CHECK 2人の会話を聞いて、空所を埋めよう。

Kenta and Andy are talking on the phone.

Kenta: What are () ()?

Andy: () () a poster for my presentation. I have to finish it tonight, but I'm () tired.

Kenta: That's too bad. Tom and I () () games online now, but we can help you.

Andy: Really? That's very kind of you!

TASK 上のCHECKの会話を参考にして、電話をかけているという設定で会話をしてみよう。その際、時間帯は休日や夜など自由に設定しよう。

E-GUIDE

活用できる機能表現 (EXPRESSIONS)

相手の発言内容に対して感じたことをあいづちで表現しよう。

- ・ I see. (なるほど) ・ Yes, indeed. (確かに) ・ I think so, too. (私もそう思います)
- ・ I can't believe it! (信じられない!) ・ Really? (本当?) ・ No way! (ありえない!)
- ・ That's nice [good / great / wonderful / fantastic]! (すばらしい!) ・ That's too bad. (それはお気の毒に)
- ・ I'm sorry to hear that. (それは残念です) ・ You're kidding! (冗談でしょ!) ・ Are you serious? (本当に?)

D これからの予定を表す

現在進行形：予定

- ⑦ My grandmother **is visiting** us tomorrow.

F-GUIDE

- ⑦ これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに、**現在進行形**を使うことができる。

TASK 今日の午後、または週末の予定について会話をしてみよう。

例 A: What **are you doing** after class?

B: I'm **meeting** Chris to talk about our plan for this weekend.

A: **Are you going** somewhere?

B: Yes. We **are going** cycling.

TASK の種類がひと目でわかる
アイコン表示

- やり取り
- 発表
- 書く

達成評価 (セルフチェックリスト)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在の状態を表すことができる。
- B いつもすることを表すことができる。
- C している最中のことを表すことができる。
- D これからの予定を現在進行形で表すことができる。

- ・ do club activities (部活動をする)
- ・ go to cram school (塾に行く)
- ・ come [get] home (家に帰る)
- ・ a haunted house (お化け屋敷)

3. 発展 発話・作文タスクで自己発信

「クラスメイトの紹介」「朝の習慣」など、レッスンごとのテーマで自己発信をします。

A CTIVE LEARNING

Introducing Yourself

SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

① クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。

- 例 Which junior high school did you go to?
How do you come to school?
What do you do in your free time?
What is your favorite sport [food/color]?

グループでの言語活動



② インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。

_____ went to _____.
He/She _____ to school.
He/She _____ in his/her free time.
His/Her favorite _____.

③ グループになって、インタビューしたクラスメイトのことをほかの人に紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

テーマについて英文を「書く」言語活動

WRITE 「朝の習慣」について書こう

① 自分が朝していることを書き出そう。

- 例 I **get** up at 6:00. I **get** dressed. I **eat** breakfast.
I **ride** my bike to school. It **takes** fifteen minutes.

② 接続詞 (and, but, when) や副詞 (first, then) などを使って、時間の流れにそって自分の朝の習慣を文章にしてみよう。

- 例 I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed and then **take** my dog for a walk. After that, I **eat** breakfast and **brush** my teeth. Then I **leave** for school at 7:15.

Self-Check

インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。③ ② ①
朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。③ ② ①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

L OGICAL THINKING

発信するための論理的な考え方

自分のことを伝えるときに、I like playing the piano. I read many books.のように事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I like playing the piano. I really love classical music.のように前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。

Start-Up ▶ EmilyはKahoの家族といっしょに旅行に行くことになりました。

Emily: I'm so happy that I can join your family trip. **What an honor!**

Kaho: We're planning to visit **a place where we can enjoy the beauty of traditional Japanese houses.**

Emily: Great! Are we going to stay at a Japanese-style hotel with hot springs?

Kaho: Yes, but before we check in, we're going to see a festival. That's **the day when a famous festival will be held nearby.**

Emily: **How exciting!** I can't wait.



Tips for Better Communication

相手からうれしいことや楽しい計画を聞いたら, I'm so happy that ... やGreat!, I can't wait.のように, 気持ちをしっかり伝えるようにしましょう。



学習事項を色分けて表示

FORMS 関係副詞を使って名詞に説明を続ける

「～する所」と言いたいときは, a placeのあとに **where** we can enjoy ... のような説明を続けます。このwhereは場所を表す名詞の説明をするときに使う**関係副詞**です。

a place ← **where** we can enjoy the beauty of traditional Japanese houses

関係副詞のwhenは, 時についての説明をするときに使います。 **the day when** a famous festival will be held nearbyは「有名なお祭りが近くで開かれる日」という意味です。

EXPRESSIONS 感情を伝える

「なんて…なんだろう!」と強く感じたことは, **感嘆文**を使って表します。感嘆文は**What an honor!**のようにwhatのあとに名詞を続けたり, **How exciting!**のように, howのあとに形容詞や副詞を続けたりします。

SOUNDS /a/と/ou/の発音

Bobやlotのoの発音は, アメリカ英語では/a(:)/, イギリス英語では/ɔ/と発音します。/a/は, 日本語の「ア」よりも口を大きく開け, 口の奥から発音します。noのoは/ou/で「オウ」と発音します。

📌 honor, hot, box, socks / open, so, hotel, home, hope, boat, coat, most, local, road, go

TALK 🗣️

会話の内容を確認し, EmilyとKahoになりきって会話をしてみよう!

Pick-Up

I can't wait.は直訳すると「待つことができない」, つまり「待ちきれない」という意味で, 楽しみにしていることを表します。I can't wait for+名詞や, I can't wait to+動詞の原形でも使えます。

📌 例 I can't wait for the weekend. / I can't wait to visit her hometown.

I INTERACTIONS 都市や町などについて話す

A 場所について説明する

関係副詞: where

① *The city **where** we live has a lot of tourist attractions.*

E-GUIDE

① 場所を表す名詞に説明を続けるときに、関係副詞 **where** を使うことができる。関係副詞 **where** は先行詞なしで使うこともある (This is **where** I practice dancing.)。

関係副詞と関係代名詞

*the city **where** we live*
*the city **that** we live in*

CHECK イラストに合うように、与えられた語句を使って英文を完成させよう。



- I want to go to the beach _____. [I / often / swimming]
- I want to visit the house _____. [my aunt / live / alone]
- This is a popular village _____. [tourists / see / traditional houses]

⇒ ACTIVE LEARNING の **SHARE** の活動 (p.108) で、**A** の表現を活用しよう。

B 時について説明する

この文法・表現を
活動ページで
活用することを明示

② Do you remember *the day **when** we first met in Sydney.*

E-GUIDE

② 時を表す名詞に説明を続けるときは、関係副詞 **when** を使う。

TASK 記憶にはっきりと残っている日について会話をしてみよう。

例 **A:** I clearly remember **the day when** I first visited Hawaii. It really is a paradise.

This is a photo I took on Waikiki Beach.

B: How happy you look! You must have had a wonderful time there.

A: I did! I want to go back again soon.

E-GUIDE

相手の発言に対し、感じたことを伝えよう

- ・ Sounds interesting. (おもしろそう) ・ It must have been fun. (楽しかったにちがいない)
- ・ How romantic! (なんてロマンチック!) ・ How happy you look! (とても幸せそう!) ・ What a day! (なんて日だ!)

V VOCABULARY

- ・ be famous for (〜で有名な)
- ・ popular (人気がある)
- ・ traditional (伝統的な)
- ・ exciting (刺激的な)
- ・ historical (歴史に関わりのある)
- ・ historic (歴史上重要な)
- ・ bustling (にぎわっている)
- ・ quiet (静かな)
- ・ convenient (便利な)
- ・ elegant (優雅な、洗練された)
- ・ cozy (居心地がよい)
- ・ local food (その土地の食べ物)



C 「～する理由」「～する方法」を表す

関係副詞: why/how

- ③ There are *several reasons* **why** we should learn about our hometown.
- ④ The highway was closed because of snow, and **that's why** I'm late.
- ⑤ **This is how** that long suspension bridge was built in this valley.

F-GUIDE

- ③「人・何かが～する理由」は **the reason why ...** で表す。why を使わずに There are several reasons we should ... とすることもできる。④why は **That's why ...** という形で使うこともできる。
- ⑤「人・何かが～する方法」は **how** を使って表すことができる(先行詞はない)。

CHECK 与えられた語を使って、英文を完成させよう。

1. Do you know _____ so many tourists want to visit this small town?
[reason]
2. This _____ this town became a popular tourist spot. [how]

TASK 日本有名な観光地を1つ選び、そこが有名である理由や、有名になったいきさつを説明した文章を書いてみよう。

例 **The reason why** Genbaku Dome in Hiroshima has become famous is that it vividly shows us the tragedy of war. Hiroshima city's website offers rich information about this dome in various languages. **This is how** the information about Genbaku Dome has spread around the world.

CHECK て文法の確認 + **TASK** 言語活動に活用

D 「何でも・いつでも」を表す

複合関係詞

- ⑥ I'll do **whatever** I can to make this city a better place.
- ⑦ **Whenever** you return to this town, please come and see us.

F-GUIDE

- ⑥whatever のような ever がついた複合関係詞は、**名詞のはたらきをする節**をつくることができる。
- ⑦複合関係詞は「～するときはいつも」のような、**副詞のはたらきをする節**をつくることもできる。

TASK あなたが住んでいる地域のことを宣伝してみよう。

例 I live in a small town in Oita prefecture. There are beautiful mountains and rivers nearby. You can enjoy the natural beauty of our town **whenever** you come. Also, I'd like you to visit the new shopping mall in our town. There you can get **whatever** you need!

- ・ a capital (首都)
- ・ a local mascot (ご当地キャラ)
- ・ be well-known for (～でよく知られた)
- ・ a tourist spot [attraction] (観光名所)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 場所について説明することができる。
- B 時について説明することができる。
- C 「～する理由」「～する方法」を表すことができる。
- D 「だれでも・何でも・どこでも」を表すことができる。

I

LESSON 17

ACTIVE LEARNING

Cities and Towns

前ページまでに学んだ
文法項目との対応を表示

SHARE 都市や町を紹介しよう **A**

① 次の都市や町から1つ選び、その場所にある名所や、そこでできることなどを紹介しよう。



例 Asakusa



a. Nagasaki



b. Sapporo



c. Kamakura

例 Asakusa is a very popular area in Tokyo with several famous places. Senso-ji is a Buddhist temple **where** visitors can pray to the Goddess of Mercy. Nakamise-Dori, between the temple and Kaminarimon Gate, is a street **where** visitors can buy souvenirs and have snacks.

② グループになって、順番に発表しよう。

聞き手はそれぞれの発表に、感想を言ったり質問したりしよう。

WRITE 都市や町の魅力を伝えよう

都市や町の魅力を紹介する番組で、次回特集する所を検討中です。番組制作スタッフになったつもりで特集したい都市や町を考え、提案にまとめよう。

次のことを意識してみよう。

1. どのような人が喜んでくれるか。
2. どのような名所があって、何ができるか。



例 Salzburg is a must-see for classical music fans. It's the city **where** Mozart was born and raised. In the city, visitors can see the house **where** he was born and the Mozart Residence — the house which his family moved to in 1773.

Self-Check

都市や町の名所や、そこでできることを伝えることができた。③②①
紹介したい都市や町を提案する文を書くことができた。③②①

LOGICAL THINKING

紹介したい所が決まったら、そこについて何を書くのかアイデアを集めましょう。「どんな場所なのか」「そこで何ができるか」「どんな魅力があるのか」などを、インターネットやガイドブックなどで調べましょう。自分が選んだ所を英語で紹介している記事なども参考にしましょう。

EXTENSION

言語活動に活用できる資料ページ。

- 世界の都市と観光名所
- 世界の偉人たち
- データを分析しよう
- 社会問題について考えよう
など

EXTENSION 世界の都市と観光名所

次ページ (p. 110) の「都市や偉人の説明をしよう!」で、以下の写真の都市を紹介しよう。



New York City (the U.S.)
Statue of Liberty
(about 46m high)

アメリカ合衆国の独立100周年を記念して、1886年にフランスから贈られた。



Sydney (Australia)
Opera House
(about 18,000㎡)

1973年完成の劇場・ホール。20世紀を代表する近代建築物として、世界遺産に登録された。



Prague (Czech Republic)
Prague Castle
(about 70,000㎡)

870年建造。世界で最大の城として知られ、教会、修道院、宮殿などの建物が含まれる。



Dubai (UAE)
Burj Khalifa (828m high)
2010年、世界一の高層ビルとして完成。163階建てで、ホテルや展望台が入る。

Cities and Tourist Attractions in the World



Bangkok (Thailand)
the Reclining Buddha
(46m long, 15m high)
王宮寺院ワット・ポーにある涅槃(ねはん)仏。足の裏には108枚の絵が描かれている。



Cusco (Peru)
Machu Picchu (about 5km²)
標高約2,430mに位置する古代インカ帝国の遺跡。「空中都市」などと称される。1983年、世界遺産に登録された。



Giza (Egypt)
Great Sphinx of Giza
(about 73m long, 20m high)
4000年以上前の、巨大なスフィンクスの石像。一枚岩からの彫り出しとしては世界最大の像。



Barcelona (Spain)
Sagrada Familia
(about 170m high, planned)
建築家アントニ・ガウディが設計した教会。1882年着工。未完成のまま世界遺産に登録。

発信活動の手引き

英語での発信活動を効果的に行うための方法を紹介。
用例を見ながら、論理的な伝達方法の基本が学べます。

Presentation

プレゼンテーションをしてみよう!

情報や提案など、自分で調べたり練り上げたりしたものをわかりやすく説明するのが、プレゼンテーションです。話の展開についてはスピーチと同様です。提示する情報に説得力をもたせるために、グラフなどを使用しながら説明すると効果的です。

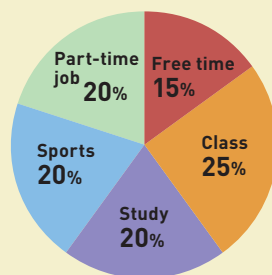
プレゼンテーションの手順はスピーチと同じように、I'd like to talk about や I'd like to discuss のような表現で始めます。いくつか論点がある場合は、I'll start with ... and then move on to のような表現を使うとよいでしょう。

では、「学生の時間の使い方」についてのプレゼンテーションの一部を見てみましょう。

概要と用例

This pie chart shows how typical students at Acton College use their time during the first year. As you can see, they spend less than half of the year studying. They spend just twenty-five percent of their time attending classes and twenty percent studying alone. They devote more than half of their time to non-academic activities. They spend twenty percent of their time playing sports, and another twenty percent working part-time. They spend the remaining fifteen percent just relaxing.

Acton College Students' Use of Time



プレゼンテーションでは次のような表現を使います。

説明する

I'd like to explain (…を説明いたします)

Let me explain why (どうして…なのか説明します)

Let me tell you (…をお話しします)

In my opinion, (私の考えでは…)

相手に問かける

I think we all agree that (…ということはみなさん賛成だと思います)

Some of you might know that (…ということをご存じの方もいるでしょう)

Let me ask you to think about (…について考えてほしいのです)

Here's something to think about. (考えていただきたいことがあります)

What would you do if ...? (もし…なら、どうしますか)

活用できる表現

- スピーチをしてみよう！
- ディベートをしてみよう！
- パラグラフを書いてみよう！
- プレゼンテーションをしてみよう！
- 論理的に考えてみよう！
- ディスカッションをしてみよう！

活用できる表現

グラフに言及する

Please have [take] a look at this graph [chart]. (このグラフをご覧ください)

This chart shows (このグラフは...ということを表しています)

This indicates that (これは...ということを示しています)

From this, we can see that (このことから、...ということがわかります)

According to this, (これによると...)

- ・ a pie chart / a circle graph : 円グラフ
- ・ a bar chart [graph] : 棒グラフ
- ・ a line chart [graph] : 折れ線グラフ
- ・ a table : 表

プレゼンテーションをするときは、聞いている人へのアイコンタクトを忘れないようにしましょう。言いたいことが聞き手に伝わるように、話し方にも工夫が必要です。原稿を「読む」のではなく、自信と説得力が感じられるように、ときには身振り手振りを交えながら、プレゼンテーションをしましょう。

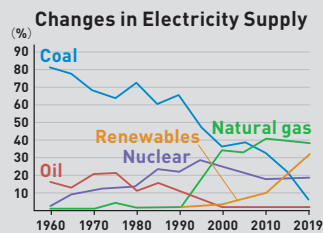
- ・ 高校生の「生活時間」についての統計を調べ、グラフを使って発表してみましょう。

TRY! 電力供給についてのプレゼンテーションをしよう

電力供給がどのようなエネルギー源から行われているかを調べ、発表しましょう。過去の電力供給の推移や、現在の電力供給の割合を調べたりします。

EXAMPLE

This graph shows the changes in electricity supply in the UK from 1960 to 2019. In 1960, around 80 percent of Britain's electricity came from coal, but the use of this fuel decreased after that. From the early 1990s, the use of natural gas increased dramatically. The use of nuclear power reached approximately 30 percent in 1995 and then decreased steadily. In 2002, Britain started a new system. All electric supply companies now had to supply a certain percentage of their electricity from renewable energy sources. At first, it was only three percent, but by 2019, more than 30 percent of Britain's electricity came from such sources.



出典 : Department for Business, Energy & Industrial Strategy, UK. Historical electricity data: 1920-2019 (2020)を元に作成

- ・ 上のプレゼンテーションを実際にやってみましょう。

TASK

- ・ 自然エネルギーについて調べ、資料を使いながら発表してみましょう。
- ・ 生活環境について調べ、資料を使いながら発表してみましょう。

学んだ手順をもとに別のテーマで応用練習

Keep Talking

英語を使う場面ごとによく使われる会話表現集。
「やり取り」の活動に最適な状況設定と豊富な例文。
会話・リスニング試験対策にも効果的。

- Scene① 移動する
- Scene② 食事をする
- Scene③ 買い物をする
- Scene④ 道をたずねる
- Scene⑤ 電話で話す
- Scene⑥ 病院に行く

KEEP
TALKING

Scene ① 移動する



モデル会話の音声再生

Role-Play 駅での会話をペアで練習してみよう。

[at a ticket office] **T: Traveler** **C: Clerk**

T: I'd like a ticket to Oxford, please.

C: Single or return?

T: Return, please.

C: Do you want a reserved seat?

T: No, thanks. What time does the next train leave?

C: The next train leaves at 11:45 from Platform 5.

T: オックスフォードへの切符をお願いします。

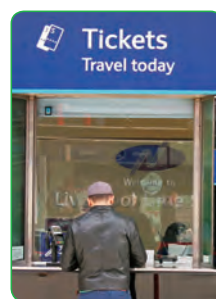
C: 片道ですか、往復ですか。

T: 往復切符をお願いします。

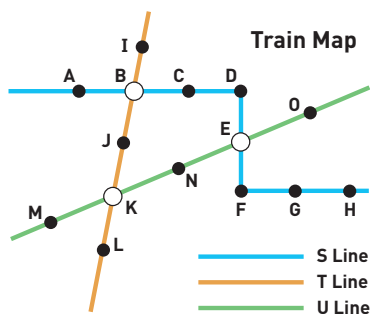
C: 指定席になさいますか。

T: いいえ。次の列車は何時に出ますか。

C: 次の列車は11時45分発で、5番ホームからです。



TASK ペアになって自分たちで場面を設定し、Expressionsの表現を参考に話してみよう。



例 You are at B Station.

T: I'd like to go to O Station. Could you tell me how to get there?

C: First, take the S Line to E Station. Then, transfer to the U Line. O Station is the next station after E Station.

T: Thanks.

Expressions

- T**
 - How do I get to M Station? (M駅へはどうやって行くのですか)
 - Which platform does the train for O Station leave from? (O駅行きの電車は何番ホームからですか)
 - What station do I get off at to go there? (そこへ行くにはどの駅で降りたらいですか)
 - How long does it take to Q Station? (Q駅まで、どのくらいの時間がかかりますか)
- C**
 - Take the Y Line to Z Station. (Z駅までY線に乗ってください)
 - You have to change trains at the next station. (次の駅で乗り換えなければなりません)
 - Transfer to the W Line at X Station. (X駅でW線に乗り換えて)

Iで学んだ文法の理解をさらに深め、
情報や自分の考え、気持ちなどを論理的に伝える力を養成する

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論II 716

English Logic and Expression II Clear be



IIZUNA SHOTEN

Contents

Introduction 「論理的に考える」ためのウォームアップ

1. 出来事を伝える	p.7
2. 説明する	p.8
3. 話の流れを読みとる	p.10
4. 理由を述べる	p.11
5. 具体例を示す	p.13
6. 分析する	p.14

文法を軸とした
レッスン構成

1st Zone Talking about Yourself

Point 主語と動詞の使い方

LESSON 1 Your Interests 興味のあることについて話す pp.17-20

<p>Start-Up</p> <p>Forms 動詞の形で時と状況を表す</p> <p>Expressions いつのことなのかをわかりやすく示す</p> <p>Speaking 伝えたい情報は強く発音する</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions 興味をもっていること・クラブ活動について伝えよう</p> <p>A クラブ活動について伝える 現在形・過去形</p> <p>B 趣味やクラブ活動での経験を伝える 完了形</p> <p>C これからのことを伝える 未来を表す表現</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning Talking about Your Interests</p> <p>SHARE 興味のあることについて話そう</p> <p>WRITE グループのメンバーを紹介しよう</p>
--	---	--

LESSON 2 Your Daily Life 日常生活を紹介する pp.21-24

<p>Start-Up</p> <p>Forms 名詞として句や節を使う</p> <p>Expressions スピーチでは導入と結びのこたばを入れる</p> <p>Speaking 音の連続を意識する</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions 日常生活について伝えよう</p> <p>A 関心があることについて伝える 不定詞(名詞用法)</p> <p>B 流行しているものに対する感想を述べる 動名詞</p> <p>C 流行しているものをすすめる 名詞節</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning Talking about Daily Life</p> <p>SHARE 流行していることや関心のあることを話そう</p> <p>WRITE ビデオレターの台本を書こう</p>
---	---	--

LESSON 3 Your School Life 学校生活について話す pp.25-28

<p>Start-Up</p> <p>Forms 助動詞で動詞に意味を加える</p> <p>Expressions 手順をわかりやすく説明する</p> <p>Speaking start には2つの発音がある</p> <p>Tips for Logical Thinking</p>	<p>Interactions 学校生活について説明しよう</p> <p>A 学校内の決まりについて話す can / may / must / should</p> <p>B 状況から推測したことを伝える 推量を表す助動詞</p> <p>C 過去のことへの推量や後悔を述べる 助動詞+ have + 過去分詞</p> <p>Vocabulary</p>	<p>Active Learning How to Use School Facilities</p> <p>SHARE 留学生に掃除の手順を説明しよう</p> <p>WRITE 学校の施設の使い方を説明しよう</p>
--	--	---

Tips for English Expression ① 気持ちを伝えよう!	p.29
スクリプト・ライティングをしてみよう!	p.30

2nd Zone Interaction with Society

Point 形容詞や関係詞で情報を加える

LESSON 4 Media Literacy メディアリテラシー

pp.33-36

Start-Up ▶

Forms

形容詞で名詞に情報を加える

Expressions

具体例を示す

Speaking

強く発音する語と弱く発音する語を意識する

Tips for Logical Thinking

Interactions ソーシャルメディアとのつきあい方を考えよう

A ソーシャルメディアの使い方について話す

形容詞の限定用法と叙述用法

B ソーシャルメディアに関する話を話す

分詞の限定用法と叙述用法

C 感想をコメントする

感情を表す分詞形容詞

Vocabulary

Active Learning

Posting on Social Media

SHARE

ソーシャルメディアへの投稿について話そう

WRITE

ソーシャルメディアの注意点をまとめよう

LESSON 5 Helping Others ボランティア活動

pp.37-40

Start-Up ▶

Forms 形容詞のはたらきをする句をつくる

Expressions

理由を述べる表現を使う

Speaking

句はまとまりでとらえる

Tips for Logical Thinking

Interactions ボランティア活動に参加しよう

A ボランティア活動を紹介する

名詞+形容詞句・前置詞句

B ボランティア活動の内容を説明する

名詞+分詞句(分詞の限定用法)

C ボランティア活動の詳細をたずねる

名詞+不定詞句(不定詞の形容詞用法)

Vocabulary

Active Learning

Volunteer Activities

SHARE

ボランティア活動への参加を考えよう

WRITE

どんなボランティア活動に参加したいか書こう

LESSON 6 Introducing Your Town 地域活性レポート

pp.41-44

Start-Up ▶

Forms 関係詞を使って名詞に説明を加える

Expressions

気持ちを強調して伝える

Speaking

関係詞は弱く発音する

Tips for Logical Thinking

Interactions 自分の住む町や地域を紹介しよう

A 地元の有名な人やものを紹介する

関係代名詞(限定用法)

B 観光名所について説明する

関係代名詞(非限定用法)

C 名所をすすめる理由を説明する

関係副詞

Vocabulary

Active Learning

Your Favorite Place

SHARE

観光スポットを紹介しよう

WRITE

地域の魅力を伝えよう

Tips for English Expression ② 考えを伝えよう! p.45
スピーチをしてみよう! p.46

3rd Zone The Nature of the Human Mind

Point 副詞で情報を加える

LESSON 7 Languages of the World 世界の言語

pp.49-52

Start-Up ▶

Forms 副詞を使ってさまざまな情報を加える

Expressions

結果や結論を示す表現を使う

Speaking

ofの発音に注意する

Tips for Logical Thinking

Interactions 世界の言語について考えよう

A 言語の消滅について伝える

さまざまな副詞

B 話者人口の動向を説明する

否定的意味を表す副詞

C 言語の多様性について語る

文を修飾する・文の意味をつなぐ副詞

Vocabulary

Active Learning

Languages

SHARE

世界の英語話者について話そう

WRITE

「消滅の危機にある言語」について意見を書こう

II

LESSON 8 Imagining the Future 想像力をはたらかせる

pp.53-56

Start-Up

- F**orms 副詞のはたらきをする句をつくる
- E**xpressions 予測や予想を伝える表現を使う
- S**peaking 年号を読む
- T**ips for Logical Thinking

Interactions 想像したことを伝えよう

- A** 未来を想像して書く
- B** 未来のことを予想して話す
- C** ストーリーを想像して伝える

- 不定詞(副詞用法)
- 不定詞を使う表現
- 分詞を使う表現

Vocabulary

Active **L**earning

- Telling a Story
- SHARE** ストーリーを続けよう
- WRITE** 未来の生活を想像してみよう

LESSON 9 Happiness and Stress 幸福・ストレス

pp.57-60

Start-Up

- F**orms 副詞のはたらきをする節で文に情報を加える
- E**xpressions 因果関係を明示する
- S**peaking /t/や/d/の音に注意する
- T**ips for Logical Thinking

Interactions 幸福とストレスの原因を考えよう

- A** 幸せや不安を感じる時のことを話す
- B** ストレスの対処法について伝える
- C** 幸福の要因について考える

- 時・理由・条件などを表す副詞節
- 譲歩を表す副詞節
- 目的・程度を表す表現

Vocabulary

Active **L**earning

- The Secret to Happiness
- SHARE** 幸せに必要な要素について考えよう
- WRITE** ストレス解消法について書こう

EXTENSION 「幸福」の測り方 p.61
 プレゼンテーションをしてみよう! p.62

4th Zone Globalization and Identity

Point 比較・仮定法

LESSON 10 Comparing Countries 世界のデータを比較する

pp.65-68

Start-Up

- F**orms 比較の表現を使う
- E**xpressions グラフや表に注目させる
- S**peaking 列挙するときはイントネーションを意識する
- T**ips for Logical Thinking

Interactions 各国のデータを比べよう

- A** 比較して同じだと述べる
- B** 比較して差を述べる
- C** 比較して一番だと述べる

- 原級を使う比較
- 比較級を使う比較
- 最上級を使う比較・一番を示す表現

Vocabulary

Active **L**earning

- Analyzing Data
- SHARE** グラフを読み取ろう
- WRITE** データから考えたことをもとに提案を書こう

LESSON 11 Cultural Diversity 文化の多様性

pp.69-72

Start-Up

- F**orms 仮定法を使って想像の話をする
- E**xpressions 事実と想像の話を使い分ける
- S**peaking wouldの発音を使い分ける
- T**ips for Logical Thinking

Interactions 国際的な視野をもとう

- A** 現実と違う想像の話をする
- B** 過去の事実とは違う想像の話をする
- C** 願望やその時の事実とは違う様子を伝える

- 仮定法過去
- 仮定法過去完了
- wish / if only / as if

Vocabulary

Active **L**earning

- Multicultural Society
- SHARE** 多文化共生について考えよう
- WRITE** スピーチの原稿を書こう

LESSON 12 Japanese Customs 日本の文化

pp.73-76

Start-Up

- F**orms that節を使って話や考への内容を伝える
- E**xpressions 情報を追加する
- S**peaking /ɔ:/と/oʊ/の発音に注意する
- T**ips for Logical Thinking

Interactions 日本の文化について考えよう

- A** 日本の文化・伝統を伝える
- B** 日本の食習慣を伝える
- C** 日本の慣習についての話を伝える

- 要求・必要を表す表現
- 認識の表現・時制の一致
- 話法

Vocabulary

Active **L**earning

- Changes in Customs
- SHARE** 時代とともに変わっていく習慣について考えよう
- WRITE** 文化や習慣の変化について書こう

Tips for English Expression ③ 英語らしさと日本語らしさ	p.77
ディベートをしてみよう!	p.78

5th Zone Towards a Sustainable Society

Point 英語らしい表現

LESSON 13 Population Issues 人口問題

pp.81-84

Start-Up ▶

Forms 存在や変化を表す

E

原因と解決策を整理する

S

子音の連続に気をつける

T

Interactions 日本の人口問題について考えよう

A 出生率について伝える

「ある」「いる」の表現

B 少子高齢化について考える

「なる」「するようになる」の表現

C 時間や費用について考える

「かかる」の表現

V

Active **L**earning

Japan's Birthrate

SHARE

少子化問題について話そう

WRITE

少子化対策について書こう

LESSON 14 Rights and Equality 人権と平等

pp.85-88

Start-Up ▶

F

使役動詞や知覚動詞を使う

E

問題解決の提案をする

S

/s/と/z/の発音に注意する

T

Interactions 権利と平等について考えよう

A ジェンダーについて考える

使役動詞

B 人権問題について考える

分詞を使う「させる」「される」の表現

C 多様性を認め合う

知覚動詞

V

Active **L**earning

Human Rights

SHARE

人権問題について話そう

WRITE

人権問題について考えたことを書こう

LESSON 15 Think Globally, Act Locally 平和な世界を築くために

pp.89-92

Start-Up ▶

F

英語らしい表現方法を使う

Expressions 自分の考えを示す

Speaking 三単現のsや複数形のsを意識する

T

Interactions 世界の問題について考えよう

A 途上国の人々について考える

「~すると...になる」の表現

B 食品ロスについて考える

「~が...させる[させない]」の表現

C 安全な水の確保について考える

日本語と違う表し方(受動態を使う表現)

V

Active **L**earning

The 17 Goals

SHARE

SDGsについて話そう

WRITE

SDGsの達成のために何ができ
るか書こう

EXTENSION SDGsについて考えよう p.93

ディスカッションをしてみよう! p.94

パラグラフを書いてみよう!

パラグラフの基本 p.96

1. 「意見」のパラグラフ p.98

2. 「描写・説明」のパラグラフ p.100

3. 「比較・対照」のパラグラフ p.102

4. 「因果関係」のパラグラフ p.104

5. 「問題解決」のパラグラフ p.106

付録: The Election Victory Speech of Ms. Kamala Harris p.108

Start-Up 日本語訳 p.110

Interactions 例文・日本語訳 p.113

Punctuation in English p.118

Lexical Index (語い別さくいん) p.120

QRコードに
ついて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることで、モデル英文や例文などの音声を開いたり動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者社に対する通信料が発生します。長時間ご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。



1st Zone

Talking about Yourself

興味をもっていることや日常生活について伝えよう。主語と動詞の使い方に注意しながら、文をつくってみよう。

LESSON 1 Your Interests

LESSON 2 Your Daily Life

LESSON 3 Your School Life

高校生のスポーツ競技人口

男子

1位	サッカー	149,619人
2位	野球(硬式)	134,282人
3位	バスケットボール	85,358人
4位	バドミントン	68,618人
5位	陸上競技	62,720人
6位	卓球	50,104人
7位	バレーボール	49,384人
8位	テニス	45,486人
9位	ソフトテニス	41,626人
10位	弓道	29,282人

女子

1位	バレーボール	57,264人
2位	バドミントン	56,681人
3位	バスケットボール	54,844人
4位	弓道	35,883人
5位	陸上競技	35,428人
6位	ソフトテニス	30,316人
7位	テニス	29,685人
8位	ハンドボール	27,105人
9位	卓球	22,016人
10位	ソフトボール	17,408人

(公財)全国高等学校体育連盟「令和3年度加盟・登録状況」(2021)、(公財)日本高等学校野球連盟「令和3年度部員数」(2021)を基に作成

上の表は高校生の競技別の人数を表しています(2021年度)。男子はサッカーと野球が、3位に大差をつけています。女子はバレーボール、バドミントン、バスケットボールがそれぞれ1~3位となっています。

LESSON 1では自分の興味のあることやクラブ活動、がんばっていることについて伝えてみましょう。

Your Interests



興味のあることについて話す

Start-Up ▶ Shoが夢中になっていることについて、クラスメイトに伝えています。

My favorite sport is rugby. It is an exciting sport that requires good teamwork and fitness. The Rugby World Cup was held in Japan in 2019. Luckily, my father got two tickets for a match, and we saw it live. In that match, the Japanese national team won against the Irish team, and I was impressed with the teamwork and power of the players. Since then, I have become very interested in rugby. In fact, I'm going to join the rugby club when I enter a university. Of course, I'll have to study hard to pass the entrance exam.



Try! Answer the questions.

- Ⓐ 1. What is Sho interested in?
2. What is he going to do after entering a university?
Ⓑ What are you interested in and how did you become interested in it?

Forms 動詞の形で時と状況を表す

現在の状態や習慣は動詞の**現在形**、過去の状態や出来事は**過去形**で表します。現在形と過去形にはそれぞれ**進行形**(be動詞+動詞のing形)があり、その時点で進行中のことを表します。未来のことを表すときは、**be going to**や**will**などを使います。ある時点までに完了していること(そしてその結果)、経験していること、継続していることは**完了形**(have/has/had+過去分詞)で表します。

Expressions いつのことなのかをわかりやすく示す

まず、最初の文でラグビーを好きだと述べ、それから好きになった経緯や理由を時系列にそって説明しています。そして最後に、これからどうするかという結論につなげています。現在形、過去形、未来表現を効果的に使って、わかりやすく文章を組み立てることが大切です。また、in 2019やsince thenのような表現を使うと、いつのことなのかがはっきりします。

Speaking 伝えたい情報は強く発音する

英語を話すときは、相手に伝えたい情報を強く発音するのが基本です。My favorite sport is rugby.の場合は、rugbyにいちばん強い文アクセントが置かれることになります。

Tips for Logical Thinking

実際に起きた出来事や物語などを伝えるときは、相手が順を追って理解できるように、時系列にそって述べます。たとえば「学校からの帰り道で雨に降られてずぶぬれになった。下校時、学校を出ると雨雲が近づいていたが、今朝、天気予報は雨だったのに、傘を忘れたのだ」と時系列を無視して言うとうわかりにくいですね。どのような順にするとわかりやすいか、考えてみましょう。

Pick-Up we saw it liveの**live**は副詞で「生で、ライブで」の意味です。動詞のliveとは違い、発音は/laiv/となります。また、形容詞「生の、ライブの」としても使われます。ex. a live performance(生演奏)

I Interactions 興味をもっていること・クラブ活動について伝えよう

A クラブ活動について伝える

現在形・過去形

- ① The science club **holds** a meeting *once a week*.
- ② We **are looking for** new club members *now*.
- ③ Kana **swam** six days a week *during the spring vacation*.

レッスンのトピックで一貫した例文・CHECK・TASKで学習

F-GUIDE

現在の状態や習慣的にすることは動詞の**現在形**, 現在している最中のことは**現在進行形**で表す。過去の状態や出来事, 過去にしたことを表すときは動詞の**過去形**を使う(している最中だったことは過去進行形で表す)。used to を使って昔のことを表すこともある。

CHECK 与えられた語句を適切な形にして, 英文を完成させよう。

- 1. Andy usually _____ the guitar after he finishes studying. [practice]
- 2. They _____ the tennis nets right now. [put up]
- 3. We _____ the summer training camp last year. [participate in]

TASK ④自分の部活または表中のクラブから1つ選んで紹介しよう。ペアになってひとりが新入生として質問し, もうひとりが部員として答えよう。表にはない情報も加えて自由に話そう。

	Book Club	Alpine Club	Basketball Team	School Choir
Place	Library	Outdoors	School Gym	Music Room
Members	10	15	20	25
Recent Activities	Writing a book review Discussing new books	A trip to the Japan Alps	Spring tournament	Singing at the school entrance ceremony

例 A: We are members of the book club. We meet once a week.

B: Where do you usually meet?

A: We meet in the library every Monday.

B: What was your most recent activity?

A: We wrote a book review for a contest.

情報をたずねる

- ・ How many members ...?
- ・ How often do you ...?
- ・ Where do you ...?
- ・ What do you ...?

TASK では十分な例文を示し発信活動をサポート

完了形

B 趣味やクラブ活動での経験を伝える

- ④ Yuko **has won** the local tennis tournament *three times*.
- ⑤ They **have been playing** tennis *for three hours*.
- ⑥ Our soccer club **had already finished** morning practice *by the time I got to school*.

Vocabulary

- ・ draw pictures (絵を描く)
- ・ achieve one's goal (目標を達成する)
- ・ realize a dream (夢を実現する)
- ・ set a goal (目標を設定する)
- ・ be influenced by (〜の影響を受ける)
- ・ be interested in (〜に興味がある)
- ・ be absorbed in (〜に夢中である)
- ・ be motivated to (〜する意欲がある)
- ・ calligraphy club (書道部)
- ・ track and field team (陸上部)
- ・ tea ceremony club (茶道部)
- ・ brass band (吹奏楽部)



F-GUIDE

現在完了形 (have/has + 過去分詞) は、今までに完了したことやその結果、今までの経験、今まで継続している状態を表す。今まで継続している動作は**現在完了進行形** (have/has been + 動詞の ing 形) で表す。過去のある時点までのことなら**過去完了形** (had + 過去分詞) を使う。

CHECK 登山部の Hiroshi がある登山家のプロフィールを紹介します。右側の略歴を見ながら () 内の語句を適切な形にしよう。

Yamaguchi Yuta is an alpinist. He (start) mountain climbing in 2001. Since then, he (reach) the top of the Matterhorn twice. His next goal is Mt. Everest because he (never climb) it before.

Yamaguchi Yuta

2001: Start climbing

2007: Mt. Tanigawa

2013: the Matterhorn

2016: the Matterhorn

Next Goal: Mt. Everest

TASK CHECK の文章を参考にして、ある人のプロフィールを紹介する文章を書こう。

⇒ **Active Learning** の **WRITE** の活動 (p.20) で、**B** の表現を活用しよう。

C これからのことを伝える

未来を表す表現

- ⑦ I **will start** taking the flute lessons next month.
 ⑧ We're **going to take part in** a speech contest in June.

F-GUIDE

未来のことは、**will** や **be going to** を使って表す。「きっとそうする」とその時点で思ったことや「きっとそうなる」と思っていることは **will** を使う。前からすると決めていることについては、**be going to** を使う。

CHECK Lisa と Ren の会話を聞いて、空所に当てはまる語句を入れよう。

Lisa: Hi, Ren. I heard that your younger sister just entered our school. Which club
 (1) _____ ?

Ren: (2) _____ the brass band. She wants to play the trumpet.

Lisa: That's great. As you know, the brass band has a concert in the autumn.
 (3) _____ and watch her.

TASK クラブ活動や自分が興味のあることについて、今後やりたいこと、がんばりたいことを話そう。

例 I'm in the Japanese calligraphy club, and we **are going to** create a big banner for the school festival. It **will** be a great addition to the festival. I hope that we can make something that everyone **will** like.

CHECK (文法の確認) と **TASK** (発信活動) の組み合わせで、使える英語を身に付ける

- ・ school choir / chorus (合唱部)
- ・ alpine[mountaineering] club (山岳部)
- ・ gymnastics team (体操部)
- ・ join a club (入部する)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 情報をたずねたり答えたりすることができる。
 B だれかを紹介する文章を書くことができる。
 C これからのことについて話すことができる。

Active Learning

Talking about Your Interests



SHARE 興味のあることについて話そう

① グループになって、クラブ活動や自分の趣味で経験したことについて、ひとりずつ発表しよう。

・感想も述べよう。

例 ・ It was exciting [amazing/surprising/disappointing/fun/tough].

・ I was excited [amazed/surprised/disappointed].

② ほかの人は質問をして詳しい情報をたずね、表にまとめよう。

・ いつ、どこで、どんなことをしたか

・ そのときの様子 ・ 今後の目標

感想をたずねる

- ・ How was it?
- ・ Did you enjoy it?
- ・ What was your impression?

Name	Experience	More Information
例 Hiroshi	He climbed Mt. Fuji.	It was hard, but he finally reached the top.

WRITE グループのメンバーを紹介しよう B

グループのメンバーが興味をもっていることや、それに関連してこれまでに経験したことを紹介する文章を書こう。(50語程度)。

* SHAREで聞いた内容をもとに書き、さらに必要な情報があれば質問をしよう。

* 経験について書くときは読み手が状況をイメージできるように、詳しい情報を加えよう。

! 文章の組み立てのヒント

Step 1: 紹介する人がどんなことに興味があるか書こう。

e.g. Aya is interested in K-pop.

Step 2: これまでにどんなことを経験したか、現在どのようなことをしているかなどを書こう。

e.g. She went to a K-pop concert two years ago Now she

スモール・ステップで、書く手順のヒントと作文例を提示

例 Aya is interested in K-pop. She went to a K-pop concert two years ago, and she was very impressed by the singing and dancing of the group. Since then, she has been to their concerts several times. Now she is studying Korean so that she can understand the lyrics of their songs. (52 words) ・ lyrics : 歌詞

Self-Check ✓

自分の経験について伝えることができた。③ ② ①

ほかの人の経験について情報をたずねることができた。③ ② ①

人が興味をもっていることや経験したことを詳しく伝える文章が書けた。③ ② ①

③: よくできた ②: まあまあできた ①: あまりできなかった

各レッスンのテーマに関連した外部試験の面接を意識した質問も用意

INTERVIEW

Q1: What are you most interested in now? How much time do you spend on it?

Q2: Do you have any place that is special for you?



Start-Up ▶ 留学生のEmmaが、ホームステイ中の加藤家の住む町について、自分の家族に書いています。

The Kato family lives in a town that is located in the beautiful prefecture of Yamagata. Near their house, there is a famous park where you can see wonderful cherry blossoms in the spring. You can also visit some traditional buildings that were built more than 100 years ago. The other day, Mr. and Mrs. Kato took me to the local pottery studio, where I was able to make my own cup. On the way home, we stopped at a local restaurant. The freshwater fish that we had was delicious. I really love this town.

**Try!**

Answer the questions.

- Ⓐ 1. What is special about the traditional buildings in the town?
2. What can you do at that pottery studio?
- Ⓑ What do you recommend that visitors see or do in your hometown?

Forms 関係詞を使って名詞に説明を加える

関係詞は〈主語＋動詞〉を含む節をつくり、名詞に後ろから説明を加えるときに使います。a town that is located in ... では、that is located in ... という関係詞節が、直前の名詞 a town に説明を加えています。

関係詞には、節の中で代名詞として主語や目的語のはたらきをする**関係代名詞**と、副詞のはたらきをする**関係副詞**があります。a famous park where you can see ... の where は関係副詞です。

Expressions 気持ちを強調して伝える

Start-Upの最後の文ではreallyを使って「本当に、すごく」と動詞loveを強調しています。もっと強めたいとき、会話ではI really, really love this town.のようにreallyを繰り返します(この場合、reallyは強くゆっくりと発音します)。

Speaking 関係詞は弱く発音する

関係詞は機能語なので、通常は「弱くすばやく」発音される傾向にあります。Start-Upのthat is located / that were built / that we had / where you can see / where I was able to make では、関係詞はすべて弱く発音されます。

Tips for Logical Thinking

紹介文では、紹介する人やもの、場所などのいいところを挙げていきます。Start-Upでも、桜、伝統的な建物、陶芸、食べ物と、多面的に町のよさをアピールし、客観的な事実を伝えています。また、途中で陶芸などの体験談を交えることでリアリティが増し、より興味をそそられる文章になっています。

Pick-Up

local は「地元の、その地域の」という意味です。カタカナ語の「ローカル」は「田舎の」という意味で使いますが、英語のlocalにはそういう意味はなく、countryやruralなどと言います。また、localには「各駅停車の」という意味もあり、駅の行き先表示板でも見ることがあります。

I Interactions 自分の住む町や地域を紹介しよう

A 地元の有名な人やものを紹介する

関係代名詞 (限定用法)

- ① We have *several historic buildings* **that** were built in the Taisho period.
- ② Our town attracts *many people* **who** like traditional Japanese hot springs.
- ③ We have *a new mayor* **whom** most voters in the city strongly support.

F-GUIDE

関係代名詞は直前の名詞(先行詞)に説明を加え、どういう人[もの]かを限定する(限定用法)。主格, 目的格, 所有格という形があり, 先行詞が人なら **who/whom/whose**, 人以外なら **which/that/whose** を使う。

CHECK 例にならって, 2つの文を1文にしよう。

- 例 We visited a temple. It is famous for its beautiful garden.
→ We visited a temple **that** is famous for its beautiful garden.
1. This is a stone bridge. It was built more than 300 years ago.
 2. You will like the traditional Japanese dolls. My uncle made them.
 3. Our city is the hometown of an actor. We saw him on TV last night.

TASK 写真と語句を参考に, ペアになって, 観光客と町の人という設定で町の名所について話そう。



1. [castle / built in 1346 / registered as a World Heritage Site]
2. [traditional Japanese inns / many tourists / hot springs]

例 A: What should I see in this town?
B: There are a lot of places **that** you should see.
Look at this photo. This is a castle **which** was built ...

提案する

- ・ How about + (動) 名詞 ...?
- ・ What about + (動) 名詞 ...?
- ・ Why don't you *do* ...?
- ・ Why not *do* ...?

B 観光名所について説明する

関係代名詞 (非限定用法)

- ④ *Kawabata Yasunari*, **who** won the Nobel Prize in Literature, wrote some of his novels in Kamakura.
- ⑤ Many tourists visit *Senso-ji Temple*, **which** is located in Asakusa.

F-GUIDE

特定の人やものを表す名詞に情報を追加するときは, 関係代名詞の前にコンマを入れる(非限定用法)。この場合 **that** は使えない。非限定用法で, 前の文の内容に説明やコメントを加えることもできる。

Vocabulary

- ・ be located in (～に位置する)
- ・ transportation (交通機関)
- ・ shopping area (商店街)
- ・ landscape (風景)
- ・ tourist attraction (観光名所)
- ・ residential area (住宅地)
- ・ community activities (地域活動)
- ・ busy place (にぎやかな場所)
- ・ local food (地元の料理 [食べもの])
- ・ beauty of nature (自然の美しさ)
- ・ beyond description (言い表せない)
- ・ popular location [spot] (人気の場所)



CHECK 1 []から適切な語を選んで、英文を完成させよう。

1. The writer Tsuboi Sakae, _____ won several national awards, was active in the Showa period.
2. Tsuboi, _____ works are still popular today, was born and raised on the island of Shodoshima.
3. If you go to Shodoshima, _____ is part of Kagawa Prefecture, you can learn a lot about her life.
[which / who / whose]

CHECK 2 釧路湿原 (Kushiro Marsh) についての音声を聞いて、空所に当てはまる語句を入れよう。🔊

I'm going to introduce Kushiro City, (1) _____ in the eastern part of Hokkaido. It is famous for the Kushiro Marsh, (2) _____ wet area covered with grass. Known as the home of many wild animals, such as cranes and deer, the Kushiro Marsh attracts (3) _____ to enjoy the natural scenery and wildlife.

TASK 📌 **CHECK**を参考にして、観光名所の所在地や特徴などを説明する文を書こう。

C 名所をすすめる理由を説明する

関係副詞

- ⑥ In this park, there are *many spots* **where** you can take great photos.
- ⑦ Winter is *the season* **when** this lake looks most beautiful.
- ⑧ You can find various kinds of birds here. That is **why** this forest is popular with photographers.

F-GUIDE

関係副詞の **where** は場所について、**when** は時についての情報を加えるときに使う。先行詞が特定の場所や時の場合は非限定用法(関係詞の前にコンマを入れる)で使う。**why** は理由を説明する関係副詞として、*reason* を先行詞にしたり、*That is why ...* という形で使ったりすることができる。

CHECK 与えられた語を使って、2つの文を1文にしよう。

1. This park has a campsite. You can have a barbecue there. [where]
2. You should visit my town in July. We have our annual fireworks festival at that time. [when]
3. I recommend Blue Grass Farm. You can ride horses there. [where]

⇒ **Active Learning** の **WRITE** の活動 (p.44) で、**B C** の表現を活用しよう。

- ・ **within walking distance** (徒歩圏内に)
- ・ **commercial area** (商業地区)
- ・ **business district** (ビジネス街)
- ・ **historic architecture** (歴史的建造物)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A** 観光客に町の魅力を紹介することができる。
- B** 観光名所の説明をすることができる。
- C** 名所をすすめる理由を説明することができる。

Active Learning

Your Favorite Place

SHARE 観光スポットを紹介しよう

① 旅行会社の人になったつもりで、旅行を計画している家族に写真の場所やそのほか自由な旅行先をすすめ、その場所でできることを説明しよう。



Chinatown



Farm



Beach

例 This is a picture of Chinatown, where you can eat delicious Chinese food. You can try unique dishes which you probably can't find anywhere else. That's why this place is always so crowded, especially on weekends.

② ほかの人はその場所について質問してみよう。

- 例** ・ Where is _____? ・ What is it famous for?
 ・ What kind of activities can we do there?
 ・ What food should I try there? ・ What hotel would you recommend?

WRITE 地域の魅力を伝えよう **B C**

あなたは自分の町の紹介文を英語で書くように、地元の旅行会社に頼まれました。旅行者にすすめる場所を選んで、その場所の魅力を伝える文章を書こう(60語程度)。

1 文章の組み立てのヒント

- Step 1**: 紹介する場所の名前や特徴を書こう。
 e.g. Our town has a new modern art museum, which is located
- Step 2**: その場所でできることについて書こう。
 e.g. There you can see various works which were
- Step 3**: 締めくくりのことばを書こう。
 e.g. Please don't forget to visit this museum when you come to our town.

例 Our town has a new modern art museum, which is located in the downtown area. There you can see various works which were created by young artists living in the town. The museum also has a fashionable cafe, where you can try vegetarian food. Please don't forget to visit this museum when you come to our town. (57 words)

Self-Check

旅行を計画している人に旅行先の紹介をすることができた。 **3** **2** **1**
 地域の魅力を伝える文章が書けた。 **3** **2** **1**

INTERVIEW

- Q1**: What is the most famous place in your hometown?
Q2: What do you like most about your hometown? Give two reasons.

Tips for English Expression

- ①気持ちを伝えよう！
- ②考えを伝えよう！
- ③英語らしさと日本語らしさ

Tips for English Expression ②

考えを伝えよう！

自分の考えや思いを伝えるときに、I've decided to study law. (法律を勉強することに決めました) とか、I'm considering studying abroad. (留学することを考えています) のように、動詞のあとに不定詞や動名詞を続けて表現することがあります。この場合、不定詞や動名詞は動詞の目的語のはたらきをしています。どちらを目的語にするかは動詞によって決まっています。

decide, want, hope, plan のように「これからすること」を伝えるような動詞には不定詞を続けます。夢や目標、計画など、これから「達成すること」を意識する場合です。

I want to become a comedian. (私はコメディアンになりたい)



一方、consider, discuss, enjoy, practice, stop のように「検討中のこと、実際にしていること、しなくなることを伝えるような動詞には動名詞を続けます。「達成すること」を意識しない場合です。

I enjoy practicing the piano. (私はピアノを弾くのを楽しんでいます)
I'll stop wasting time. (時間をむだに使わないようにします)



自分のことを表現してみよう！

decide / want / hope / plan に不定詞を続けて、したいと思っていることや、計画していることを2つ書き出してみましょう。

例 I hope to run a marathon someday.

① _____

② _____

consider / enjoy / practice / stop に動名詞を続けて、しようかと考えていることや、していること、しなくなることを2つ書き出してみましょう。

例 I'm considering going to medical school.

① _____

② _____

ペアになって会話しよう！

相手を書いた文について、どうしてそう思っているのか、何か準備をしていることがあるのかなど、英語で質問してみましょう。質問されたことにはできるだけ具体的に答え、会話を楽しみましょう。

例 A: Do you really want to run a marathon?

B: Yes, I do. My dream is to run the Honolulu Marathon.

A: Sounds great. Are you training for it?

B: Yes, I am. I run five kilometers every day and I stopped eating junk food!

Paragraph Writing

パラグラフ構成の基本を学び、自分の考えをまとめる力を養成します。
発信力向上のため、さまざまなテーマ・論理展開で文章を作る力を身につけます。

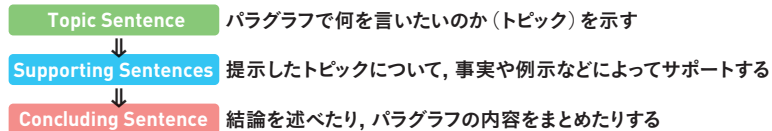
Paragraph
Writing

パラグラフを書いてみよう!

英語のパラグラフの基本

英語の「パラグラフ」は、ある「トピック(主題)」について述べる文のまとめりです。パラグラフの長さはさまざまですが、5~8文(80~100語)を目安として構成するのがよいでしょう。

英語のパラグラフの基本構成は次のようになっています。



パラグラフを書くときは、いきなり書き始めるのではなく、まず、パラグラフの構成にしたがってアウトラインをつくりましょう。トピックを何にするのか、どのようなサポートを続けるのか、どのようにまとめるのかを、あらかじめ書き出しておきます。その際、パラグラフの流れが論理的に展開されているか、読む人に伝わるような内容になっているかをチェックする必要があります。

ではまず、「若者にとってのスマートフォンのメリット」について書かれたパラグラフを読んで、パラグラフのポイントを確認しましょう。

For young people, what are the advantages and disadvantages of having a smartphone? On the plus side, it enables us to communicate with family and friends quickly and easily. We can send email and text messages, video-chat, or make ordinary phone calls. We also like having a smartphone for entertainment, with plenty of videos, music, and games available online. Of course, a smartphone allows us to access all kinds of information. We can use it to read the news, look up information for assignments and check the spellings of words. Therefore, I think it's a good idea for young people to have smartphones.

このパラグラフでは、導入の文のあとにプラス面を述べたトピックセンテンスが続きます。それをサポートする文のあとに、さらなるプラス面の提示により、そのサポートが続いています。最後は、スマートフォンを持つことにはメリットがあると結論を述べ、パラグラフを締めています。

- パラグラフの基本
- 「意見」のパラグラフ
- 「描写・説明」のパラグラフ
- 「比較・対照」のパラグラフ
- 「因果関係」のパラグラフ
- 「問題解決」のパラグラフ

Point 1 トピックセンテンスで論点をはっきりさせる

トピックセンテンスはパラグラフの主題を述べる文ですから、あいまいな表現は使わずわかりやすい表現を使いましょう。1つのパラグラフは1つのトピックで構成するので、論点を絞り込むことも大切です。

パラグラフの最初を、疑問文とそれに対する答えで構成して、トピックを提示する方法もあります。読む人を引き込む効果がありますが、すべてのトピックに使えるわけではありません。

Point 2 サポートセンテンスは具体的で明確なものにする

トピックをサポートする内容は、読む人を納得させることができるように、具体的で明確なものにする必要があります。具体的な名称や客観的な数値などを入れると説得力が増します。

Point 3 論理展開をはっきりさせる

パラグラフの内容は論理的でなければなりません。そのために、thereforeやhoweverのような論理展開をはっきりさせる表現を使うと効果があります。

では、マイナス面を述べた次のパラグラフを読んでみましょう。

On the minus side, a smartphone can interfere with young people's school work. It is very addictive, and we always have it nearby. If we get a text message, we feel we have to reply to it immediately. Text messages and phone calls are distracting. They prevent us from concentrating on our studies. Also, talking to our friends on the phone is a lot of fun and we tend to talk for a long time. In short, the smartphone makes us lazy and distracted, and so we should be careful how we use our smartphones.

- ・interfere with: ~を妨げる
- ・addictive: 病みつきになる
- ・distracting: 気を散らすような
- ・distracted: 気を散らされた

Point 4 全体のバランスを考える

パラグラフを続ける場合は、それぞれのパラグラフの役割を明確にする必要があります。最初にthe plus side, 次にthe minus sideのように、はっきりとした展開にします。この2つのパラグラフでは、メリットとデメリットを分けて論じています。このように、1つのパラグラフの中では論点を一貫させるようにしましょう。

英語のパラグラフには、論じる内容によって典型的な展開のしかたがあります。次のページから、5つのパターンでパラグラフを書く練習をしてみましょう。

左頁

詳しい文法の解説で教科書の理解を助ける。

例文は音声再生アプリ「いいずなボイス」対応

右頁

文法を網羅した演習問題

LESSON 19 比較② (最上級)

A 最上級

ほかのどれよりも上回っていることを表す。

- ① This is the **tallest building** in our town. (これは私たちの町で最も高い建物です)
- ② He is **by far the best singer** of the five. (彼は5人の中で最優秀な歌手です)

ある範囲の中で「最も～だ」は (the + 最上級) を使い、範囲を in で表現する。in は「(何かの中で)～」のイメージ。最上級で表すものは、どれのことなのかを特定できるので the を使う。
 ・ある集団の中で「最も～だ」は (the + 最上級) を使い、そのあとにどういう集団なのかを of を使って表現する。
 ex. This smartphone is the **thinnest of all**. (このスマートフォンがすべての中で最も薄いです)

◆副詞の最上級には the をつけなくてもよい。
 Lisa is **fastest** in her class. (彼女はクラスで一番速く走る)



例文

関係代名詞を付けて、「今まで最も～」の意味にする。
 ex. This is the **most exciting movie** (that) I've ever seen. (これは私が今までに見た中で最も面白い映画です)
 ※関係代名詞 that を使うが、省略可能。

③ (the + 最上級) の前に by far を入れると、「飛び抜けて最も～だ」の表現になる。much でも同様の表現になる。
 Lisa is **much the best player** in the club. (リサはそのクラブで飛び抜けて上手な選手だ)

B 最上級を使う表現

「最も～なひとつ・～2番目に～な」を表す。

- ① He is **one of the tallest boys** in his class. (彼はクラスの中で最も背の高い男の子のひとつだ)
- ② Canada is the **second largest** country in the world. (カナダは世界で2番目に大きな国です。)

③ 「最も～なひとつ [ひとつ]」は (one of the + 最上級 + 名詞(複数形)) で表す。この場合、最上級のあとの名詞は複数形にする。

④ (the + 序数 + 最上級) のようにすると、「～番目に～な」という意味になる。例文では the second largest なので「2番目に大きい」という意味。
 ex. What is the **third largest** city in Japan. (日本で3番目に大きい都市は何ですか)

教科書、総合英語 be の該当頁

EXERCISES 比較② (最上級)

- 日本語に合うように、[] 内の語を参考にして、英文を完成させなさい。
 - ニーラはみんなのうちで最も熱心に働く。[hard]
Nell works () () () them all.
 - オリヴィアはこの町で最も成功している人物だ。[successful]
Olivia is the () () person () this town.
 - 彼はその5人の中で飛び抜けてダンスが上手だ。[good]
He is by () () () dancer () the five.
 - それは史上最悪の洪水だった。[flood]
That was () () () () history.
 - これは私が今まで食べた中で最もおいしい食べ物だ。[delicious]
This is () () () () food () ever eaten.
- 日本語に合うように、() 内の語を並べかえ、全文を書きなさい。
 - ビルはカリフォルニア州で最も大きい養老老人ホームのひとつを経営している。
Bill runs (biggest / of / one / the / nursing homes) in California.
 - 世界で3番目に長い川は何ですか。
What is (longest / of / the / river / in / third) the world?
 - サラは合唱団の中で抜群に上手な歌手だ。
Sarah is (the / in / singer / by far / best) the chorus.
 - モナコは世界で2番目に小さい国です。
Monaco is (in / smallest / the / country / second) the world.
- 与えられた状況に合うように () 内の語を並べかえ、全文を書きなさい。
 - ① 友人が大きなプラモデルを見て、その大規模をました。
This is (that / I've / the / plastic model / largest) ever built.
 - ② 旅行で十和田湖を訪れた一家。観光ガイドの語によると…
Lake Towada is (deepest / in / the / lake / third) Japan.
- [] 内の語を参考にして、～に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。
 - 私は～の中で最も…。[in]
 - ～(人)は私の家族の中で…番目に背が高い。[tall]

「GRAMMAR PLUS」「SUPPLEMENT」で、教科書で扱っていない文法項目も手厚く網羅

GRAMMAR PLUS ⑥

比較を使う表現

- as many as / as much as 「～も」
 - As many as twelve people were injured in the accident. (その事故で12人も人が負傷した)
 - (as many as + 可算名詞) で数が多いことを、(as much as + 不可算名詞) で量が多いことを表す。
ex. This bag costs as much as 100,000 yen. (このバッグは10万円もする)
 - 比較級 + and + 比較級「ますます～」
 - It's getting colder and colder. (ますます寒くなってきています)
 - (more and more + 名詞) で「ますます多くの～」を表す。
ex. More and more children are using the Internet every day. (ますます多くの子どもたちが毎日インターネットを使っている)
 - all the + 比較級「それだけいっそう～」
 - I like Sam all the better for his faults. (サムには欠点があるのはいっそう縁のことが好きです)
 - (all the + 比較級) で「それだけいっそう～」を表し、(for + 名詞句) や (because + 節) をあとに付けてその理由を表す。
ex. I like Sam all the better because he has some faults.
 - not so much A as B / more B than A 「Aというよりむしろ B」
 - He was not so much a coward as a realist. (彼は臆病者というよりむしろ現実主義者だった)
 - He is more stingy than economical. (彼は節約的というよりむしろケチだ)
 - not so much A as B で A、B に入るのは名詞、形容詞、句・節などが、A と B には同じ要素が入る(例文では名詞)。
② more B than A で B に形容詞を入れるとき、more hot than warm のように more のあとに原級を使う。
 - more than 「～よりも多い」
 - More than 100 people attended the wedding. (100人を超える人が結婚式に出席した)
 - more than 100 は「100よりも多い、100を超える」の意味で、厳密に言うとき 100 は含まれない。
 - no more than + 数量「～しかない」/ no less than + 数量「～もある」
 - I have no more than two dollars in my pocket. (私はポケットにたった2ドルしか持っていない)
 - I have no less than 30,000 yen in my wallet. (私は財布に3万円も持っている)
- 数が多いことを表す場合、(no fewer + 数) を使うこともできる。

EXERCISES 比較を使う表現

- () に入れるのに適切な語句を選び、記号を書きなさい。
 - The stadium was filled with () 10,000 spectators.
(a) much more (b) more than (c) better than (d) larger than
 - Thank goodness, we are lucky! The loss was () than ten dollars.
(a) much more (b) no more (c) any more (d) only more
 - I tried to call Sara () fewer than 10 times, but she didn't answer the phone.
(a) less (b) much (c) no (d) quite
 - () 20 flights were canceled due to the heavy storm.
(a) As many as (b) As long as (c) As much as (d) As soon as
 - The new bicycle will cost me as () as 50,000 yen.
(a) many (b) good (c) much (d) well
 - He is () than wise.
(a) clever (b) more clever (c) cleverer (d) cleverest
 - She was () upset as astonished.
(a) as many (b) not only (c) not so much (d) more
- 日本語に合うように、() に語句を入れなさい。
 - Nancyは内気というよりはむしろもの静かだ。
Nancy is () quiet () shy.
 - 冬になると日ごとにだんだん寒くなっていく。
In winter it gets () and () day by day.
 - 30人の人々が燃えさかるビルから救出された。
No () () thirty people were rescued from the burning building.
 - 私は彼の態度に腹を立てていたというよりむしろ悲しかった。
I was not () () angry () sad at his behavior.
- 日本語に合うように、() 内の語を並べかえ、全文を書きなさい。
 - 世界はますます多くの熱帯雨林が消えつつある。
(are / more / and / disappearing / more / rainforests) around the world.
 - 彼女は正直というよりは賢いのだと、だれもが思っている。
Everyone thinks (than / is / more / honest / clever / she).
 - 彼女の業績は、彼女が非常に若かっただけにいっそう驚きだった。
Her achievement (more / the / was / because / surprising / all) she was very young.

Essential Grammar Book

Grammar Bookの重要項目を厳選。教科書の各レッスンを2頁構成で、必要な事項を必要な分量で無理なく習得。指導用パワーポイント・テストクリエイター対応

◀ 左頁

詳しい文法の解説で教科書の理解を助ける。

例文は音声再生アプリ「いづなボイス」対応

▶ 右頁

項目対応型の演習問題

LESSON 16 関係代名詞

A 関係代名詞：主格

- ① Do you know the name of the **person who** discovered X-rays?
(あなたはX線を発見した人の名前を知っていますか。)
- ② They're trying to create **robots that** will help people with disabilities.
(彼らは障がい者を助けようとするロボットを作ろうとしています。)

関係代名詞を使って名詞が表すものを限定し、どういふ人[もの]かを伝えることができる(限定用法)。

- ◆先行詞が人・who / that
- ◆thatはwhoの代わりに使うこともできるが、先行詞が人の場合はwhoを使うことが多い。
- ◆主格の関係代名詞は動詞に先行し、動詞が働く。
- ◆先行詞が人以外・which / that
- ◆人以外について説明するときにはthatが多量される。

pp.300-301

基本例文は教科書と一致

- ③ **person whom** you admire the most.
(あなたがいちばん尊敬している人について教えてください。)
- ④ **invented** have helped many people around the world.
(彼が発明した製品は世界中の多くの人々の役に立ちました。)

- ◆先行詞が人・whom / who / that
会話ではwhoを使うことが多い。
- ▶ The man **who** I met last night was very famous. (私が昨夜会った男性はとても有名だった。)
- ◆人以外を説明する場合は**which**か**that**を使う。

- ▶ I found the book **which** you wanted to read. (私はあなたが読みたがっていた本を見つけた。)

- ◆目的格関係代名詞を使わず、名詞に(主語+動詞)を直接接する場合がある。

C 前置詞と関係代名詞

- ⑤ This is the new vaccine **that** we have been waiting for.
(これが私たちが待ち望んでいた新しいワクチンです。)

前置詞の目的格になる関係代名詞

- ◆この場合のthatも省略可能。
- ▶ This is the new vaccine **we** have been waiting for.

D 関係代名詞：what

- ⑥ **What she accomplished in the past ten years** is incredible.
(彼女が過去10年間で成し遂げたことは、信じがたいことです。)
- ⑦ **We still can't believe what he discovered.**
(私たちはまだ彼の発見したことを信じられません。)

関係代名詞**what**は先行詞なしで使い、whatで始まる関係副詞は名詞のたがきをする。

- ◆whatで始まる節が主語
- ◆whatで始まる節が目的語
- ◆whatで始まる節が補語になる場合
- ▶ This article isn't **what** I was looking for. (この記事は私が探していたものではありません。)

EXERCISES 関係代名詞

- ① 意味の通る英文になるように、() にwhichかwhoを入れて、英文を完成させなさい。 A
- (1) The hard disk () contains my data suddenly crashed.
- (2) I have a sister () goes to elementary school.
- (3) We live in a house () was built 50 years ago.

教科書の該当頁

② 日本語に合うように、() に英語を入れなさい。

- (1) 私たちが発明した製品は便利だ。
The product () () is useful.
- (2) 彼は私が長い間知っている少年だ。
He is a boy () () () () for a long time.
- (3) その先生は私が答えられない質問をしばしばしてくる。
The teacher often asks me questions () () () .
- (4) 私のおじが買った車はハイブリッドです。
The car () () () is a hybrid.

③ 次の2文を関係代名詞を用いて、書き出しに続けて1文にしなさい。 C

- (1) I saw a painting by the artist. You were talking about the artist.
I saw _____
- (2) Mike lost the camera. He had paid \$500 for it.
Mike lost _____
- (3) The girl looked nervous. You were talking to her.
The girl _____
- (4) The hotel was comfortable. I stayed at the hotel.
The hotel _____

④ 日本語に合うように、() に英語を入れなさい。 D

- (1) 私が書いたものはとてもおもしろい。
() () () is very interesting.
- (2) 私は彼女が私に言ったことを信じるのができない。
I can't believe () () () to me.
- (3) あなたにとって重要なことは私にとっても重要ですよ。
() () () is also important to me.

⑤ [] 内の語を参考にして、日本語を英語に直しなさい。 A/D

- (1) 私には数学が得意な友人がいる。[who / good]
- (2) 私が知りたいのはあなたの意見だ。[what / know / opinion]

「Plus」「Option」で、教科書で扱っていない文法項目も手厚く網羅

Plus ⑤ 関係詞の非限定用法

A 関係代名詞：非限定用法

- ① My brother **Kota, who** is studying abroad, won a scholarship.
 ② He's published **his latest novel, which** will be translated into English.

名詞に情報を追加するときは、名詞のあとにコママを入れ、(関係代名詞+説明)を続ける。

- ◆特定されている人に情報を加える。
- ◆人以外のものについて情報を加える。
- ◆非限定用法で関係代名詞**that**は使えない。
- ◆限定用法との違いに注意する。
- ▶ They have two daughters **who** are studying abroad. [ほかに娘がいる可能性がある]
(彼らには海外に留学している娘が2人いる。)
- ▶ They have two daughters, **who** are studying abroad. [娘は2人だけ]
(彼らには2人の娘がいて、海外に留学している。)

B, whichの特別な用法：節や句が先行詞

- ③ **Our soccer team won the championship, which** surprised everyone.
 ④ Some scientists tried to **make gold, which** was impossible.

- ◆前の文全体が先行詞
- ◆前の文の一部が先行詞
- ▶ He said **he did his homework by himself, which** was a lie.
(彼は宿題をひとりで行ったと言ったが、それはうそだった。)

C some of which / both of whom

- ⑤ She has a lot of medals, **some of which** she got at the Olympics.
 ⑥ They have two children, **both of whom** became professional musicians.

- ◆先行詞の一部に情報を加える。
- ◆先行詞のうち「何人か」なら**some of whom**で表す。
- ▶ There are **thirteen doctors** in this hospital, **some of whom** are interns.
(この病院には13人の医師がいるが、そのうちの何人かは研修医だ。)
- ◆先行詞の全体に情報を加える。
- ◆「全部(全員)」なら**all of which(whom)**で、「どれ/だれとも違う」なら**none of which(whom)**で表す。
- ▶ My three cars, **all of which** are red, are very beautiful.
- ▶ My three cars, **none of which** is new, are very beautiful.

D 関係副詞：非限定用法

- ⑦ We went to **the hot spring resort, where** we had a good time.
 ⑧ The first Tokyo Olympics were held in **1964, when** my father was born.

- ◆場所を表す名詞に情報を加える。「そこで、そこに(主語)は～」という意味で使う。
- ◆時を表す名詞に情報を加える。「その時(主語)は～」という意味で使う。

EXERCISES 関係詞の非限定用法

- ① 意味の通る英文になるように、() に適切な関係代名詞を入れなさい。
- (1) Susie took care of her daughter, () was sick in bed with a bad cold.
- (2) I'm very proud of my father, () is a professional baseball player.
- (3) This dictionary, () I bought yesterday, is very useful.
- (4) She visited Kyoto, () has a lot of historic buildings.
- ② 日本語に合うように、[] 内の語を使って、() に適切な語句を書きなさい。
- (1) トニーはそのコンクールで優勝した。それが彼とても人気にした。[make / popular]
 Tony won the first prize in the competition, _____.
- (2) 彼女は留学する決心をした。それは私たちを驚かせた。[surprise / us]
 She decided to study abroad, _____.
- (3) 彼女は徹夜で勉強しようとしたが、それは不可能だった。[impossible]
 She tried to study all night, _____.
- ③ 日本語に合うように、() に英語を入れなさい。
- (1) 彼はたくさんのお金を持っているが、そのうちの何割かは彼が誕生日にもらったものだ。
 He has a lot of cars, () () () he got for his birthday.
- (2) この会社には25人の従業員がいて、そのうちの何人かは女性だ。
 This company has 25 employees, () () () are women.
- (3) 私には娘が2人いるが、どちらも有名なピアニストだ。
 I have two daughters, () () () are famous pianists.
- (4) 私は顧客の全員に電話をかけたが、だれも電話に出なかった。
 I called all of our customers, () () () answered the phone.
- ④ 日本語に合うように、関係副詞を使って、() に適切な語句を書きなさい。
- (1) キムラ氏は2005年にパリに引っ越したが、そのとき彼はまだ独身だった。
 Mr. Kimura moved to Paris in 2005, _____ still single.
- (2) トムは香港に飛び、そこで現地のスタッフと話した。
 Tom flew to Hong Kong, _____ with the local staff members.
- (3) 私は5年前にナンシーに会ったが、その当時、私は大阪に住んでいた。
 I met Nancy five years ago, _____ in Osaka.
- (4) 私は昨日、東京ドームに行って、そこで野球の試合を見た。
 I went to Tokyo Dome yesterday, _____ a baseball game.

Grammar BookとEssential Grammar Bookは設問が重複しています。

*本教材はIのみのご用意になります。

生徒用準拠教材

Workbook I

教科書の学習項目を使って、英語の自己表現力を強化する

●Listening, Vocabulary, Writing 問題をバランスよく演習

Listening は、音声再生アプリ「いずなボイス」対応

LESSON 9 交通機関の問題について話す一受動態

Listening これから Mr. Jones と Kaho, Emily の会話、会話に関する質問が音声で流れます。最も適する答えを1つずつ選んで、記号を記入しなさい。

01 a. The weather. b. The traffic during the typhoon. ()
c. The damage by the typhoon. d. The electricity problems. ()

02 a. A traffic light. b. The lights of the whole city. ()
c. The electricity in Emily's apartment. d. The electricity in the teacher's apartment. ()

3 日本語で与えられた状況に合うように、() 内の語句を並べかえて英文を完成させなさい。

(1) ① 今日ここは座れるか。と思ったが、やはり通学電車は満員。
All of (train / seats / the / are / the / on) taken. **A**

(2) ② 新しい劇場が市内にできると聞いて、友だちたちがねだ。
Where (theater / built / the / will / new / be)? **B**

(3) ③ 新幹線で海外からの観光客に乗り合わせた。
(about / of / excited / the foreign tourists / the speed / were) Shinkansen. **D**

(4) ④ でこそ道について話している。
I'm glad (paved / that / is / road / being). **C**

教科書、総合英語beの該当頁

Vocabulary 次の語句に続けるのに適するものを1つずつ選んで、記号を記入しなさい。

could give up a. (a) left in Japan. (1) ()
times to repair b. (b) our seats to senior citizens. (2) ()
new to keep c. (c) roads and bridges. (3) ()
er d. (d) on a sidewalk. (4) ()
to be sure to walk e. (e) the car to use your phone. (5) ()

Writing

1 日本語の意味に合うように、() に英語を入れなさい。

(1) 電車の時刻表は12月末に変更されました。
The train timetable () () at the end of December. **A**

(2) ジャックは駅で大勢の通勤通学者に驚きました。
Jack () () at the crowd of commuters at the station. **D**

(3) この道路は1週間から閉鎖されています。
This road () () () for a week. **C**

(4) あの空き地に何が建設されたのですか。
What () () in that open space? **B**

2 対話が成立するように、() に英語を入れなさい。

(1) A: Where () the trees planted? **B**
B: Along the road so noise would () reduced. **B**

(2) A: A new bridge () () constructed. **C**
B: So that's why so many trucks are running around here. **C**


(3) A: Hello, Ken. Are you still in Japan? Has your flight to Sydney () delayed? **C**
B: Worse. — It () () canceled. **C**

4 ①~④の()に入る語句として適切なものを選んで、市長に宛てた手紙を完成させなさい。
Dear Ms. Mayor,
I (①) about the bicycles outside the train station. These bicycles (②) in pedestrian space. They (③) building entrances. I often have to walk on the road because the sidewalk (④) with parked bicycles. I'm afraid that someday, someone will get hurt. Please let me know how you will take care of this problem. Thank you.

① (worrying / am worried) ② (are parked / are parking)
③ (are also blocking / are also blocked) ④ (is filling / is filled)

5 あなたは今、カナダから来た友だちの Jim といっしょにあなたの住んでいる町を散歩しています。次の資料に合うように、Jim の質問に答えなさい。ただし、[] 内の語を使うこと。

① できて10年



(1) When was this museum built? [ago] **A**
It _____.

(2) When did you visit it for the first time? [bring] **A**
When I was an elementary school child, I _____ my parents.

「EXTENSION」で、教科書の文法事項をさらに詳しく

EXTENSION 不定詞と動名詞、どちらを使う?

1 主語や補語として使う場合

- Their plan is to develop that area. (彼らの計画はあの地域を開発するというものだ)
- 「開発する」のはこれからのことなので、不定詞を補語にしている。
- My hobby is drawing pictures. (私の趣味は絵を描くことだ)
- 「絵を描く」はふだんしていることなので、動名詞を補語にしている。

EXERCISES 1

日本語に合うように、() 内の語を並べかえ、全文を書きなさい。

1. 一番いいのは彼女にあやまることです。 (is / apologize / best / the / to / thing) to her. _____

2. 絵の趣味はバラを栽培することです。 (hobby / growing / sister's / is / my) roses. _____

2 動詞の目的語として使う場合

① 不定詞を目的語にする動詞

- My uncle promised to take me to the museum. (おじは私を博物館に連れて行くこと約束した)
- 不定詞はこれからすることや達成を目指していることなど、未来志向を表すことが多い。

② 動名詞を目的語にする動詞

- I enjoyed playing tennis with Tom. (私はトムとテニスをして楽しんだ)
- 動名詞は今(ふだん)していることやすでにしたこと、あるいはまだしていないこと(したくない、できないなど消極的な意味)を表すことが多い。

③ 自動詞が不定詞と動名詞で意味が異なる動詞

- I forgot to send her an e-mail. (彼女にメールを送るのを忘れた)
- I forgot sending her an e-mail. (彼女にメールを送ったことを忘れた)
- begin, start, like, love などは目的語が不定詞でも動名詞でもほぼ同じ意味だが、forget は目的語が不定詞だと「これからするべきことを忘れる」、動名詞だと「(過去に)〜したことを忘れる」と異なる意味になる。

EXERCISES 2

日本語に合うように、() 内から適切な語句を選びなさい。

1. 私たちは戦争を回避することを望んでいます。 **B**
We hope (avoid / avoiding / to avoid) a war.

2. 待つのはかまいません。 **B**
I don't mind (wait / waiting / to wait).

3. マイクは留学する決心をしました。 **B**
Mike decided (study / studying / to study) abroad.

4. 祖父は去年、運転をやめました。 **D**
My grandfather gave up (drive / driving / to drive) last year.

5. 大きな音を立てるのをやめてください。 **D**
Stop (make / making / to make) so much noise.

6. 私は今年の冬にオーストラリアに行く計画を立てています。 **B**
I'm planning (go / going / to go) to Australia next winter.

7. 忘れずに私と日曜日に会ってください。 **B**
Remember (meet / meeting / to meet) me on Sunday.

8. 去年私に会ったのを覚えていませんか。 **D**
Do you remember (meet / meeting / to meet) me last year?

9. 私たちはなんとか山頂に到達しました。 **D**
We managed (reach / reaching / to reach) the top of the mountain.

10. 私は彼女の最新の小説を読み終わったところです。 **D**
I've just finished (read / reading / to read) her latest novel.

3 (to + 動名詞) を使う表現

① Lisa is looking forward to going to the concert.
(リサはそのコンサートに行くのを楽しみにしている)

→ going の前の to は不定詞をつくる to でではなく前置詞なので、うしろは動名詞(不定詞は前置詞の目的語にされない)。このように不定詞と混同しやすい (to + 動名詞) を使う慣用表現には、be [become / get] used [accustomed] to doing (〜するのに慣れている [慣れる])、be opposed to doing (〜することに反対している)、object to doing (〜することに反対する)、What do you say to doing? (〜してはどうですか) などがある。

EXERCISES 3

日本語に合うように、() に英語を入れなさい。

1. マーグはそのバンドの新曲を聴くのを楽しみにしています。
Mark is () () () to the band's new song.

2. 私のいとこは田舎暮らしに慣れています。
My cousin is () () () in the country.

3. 村人たちは自分たちの地域に原子力発電所を持つことに反対しています。
The villagers are () () () a nuclear power station in their area.

4. 私は人肌の色で判断することに反対します。
I () () () people by the color of their skin.

5. あのイタリアン・レストランで昼食をとってはどうでしょう。
What do you () () () lunch at that Italian restaurant?

▼ 本冊

LESSON 6

Food Culture 食文化について話す

VOCABULARY () にあてはまる語(句)を下から1回ずつ選んで入れ、表現を覚えよう。

- (1) 皿を片付ける () the dishes
- (2) 食べ残す () on one's plate
- (3) 栄養になる ()
- (4) 肉を煮込む () meat
- (5) 好物 one's () food
- (6) 食卓を整える () the table
- (7) 魚を焼く () fish
- (8) 乳製品 () products

set / leave food / clear / grill / dairy / favorite / nutritious / stew

GRAMMS (図 pp.46-47) 次の日本語を英語にしよう。

- A** できること・できないことを表す (can / be able to)
- ① 私の姉はケーキを焼くことができます。
 - ② 今晚私たちと夕食を一緒にできますか。
 - ③ 私はニューヨークで日本食を食べることができた。
- B** 可能性があること・ないことを表す (can / can't)
- ④ これがイタリアのバスタであるはずがありません。
- C** 「してもよい」という許可や「そうかもしれない」という推量を表す (may / might)
- ⑤ もっと注文してもよろしいですか。
 - ⑥ 彼女は魚は食べられないかもしれません。
- D** 過去のことについての推量を表す (may/might/ have + 過去分詞)
- ⑦ 私はあなたのコーヒーに砂糖を入れたかもしれません。

My Sentences () の内容になるように、自分のオリジナル英文を作ってみよう。

A (←できる)

① (←のほすがない)

② (←してもいいですか)

③ (←だっただけかもしれない)

She

My Essay (図 p.48) 海外からの旅行者に知ってほしい習慣やマナーを挙げてみよう。
注意すべき点、その理由なども考えよう。

① 1. タイトル (何についてか)

2. 知ってほしいこと You should[should not]

3. 理由

●海外からの観光客へ向けて、日本の習慣やマナーについての注意書きを作ってみよう。

Title:

.....

.....

.....

.....

.....

Self-Check

My Sentences

次に動詞 はあまるか	適切な形に なっているか	次のことが 書けているか
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (can / be able to)	<input type="checkbox"/> (←できる)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (can't / cannot)	<input type="checkbox"/> (←のほすがない)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (May / Can) [, ?]	<input type="checkbox"/> (←してもいいですか)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> (may / might / have + 過去分詞)	<input type="checkbox"/> (←だっただけかもしれない)

My Essay

日本のマナーや習慣を説明できて
いるか

注意すべき点やその理由など、
簡潔に記述できているか

海外からの観光客を意識した注意
書きを書けているか

自分のことについて
書いた英文を
発信のためにストック

巻末に
教科書例文を
まとめて掲載

▼ 解答書

LESSON 6

解答

VOCABULARY

- (1) clear (2) leave food (3) nutritious (4) stew (5) favorite (6) set
(7) grill (8) dairy

GRAMMS

- A** ① My sister can bake cakes/ja cake.
② Are you able to join us for dinner tonight?
③ I was able to eat Japanese food in New York.
B ④ This can't be Italian pasta.
C ⑤ May I order (some) more?
⑥ She may not be able to eat fish.
D ⑦ I may have put too much sugar in your coffee.

My Sentences (解答例)

- A** ・ You can eat delicious Japanese food in this restaurant.
・ I was able to book a table for two at the well-known restaurant.
B ・ This wine cannot be from France.
・ This can't be the most expensive dish in this restaurant.
C ・ May I use chopsticks instead of a knife and fork?
・ Can I borrow money to buy a steak bento?
D ・ She may have been hungry.
・ She might have wanted to buy a book on Chinese food.

My Essay

(解答例1)

Good Manners for Cherry Blossom Viewing

Welcome to the world of cherry blossoms in full bloom. You can take beautiful photos everywhere. However, you should not pull or break any tree branches because if they are damaged, they may not bloom next year.

(解答例2)

Manners While Traveling by Train

Before getting on the train, you have to stand in line on the platform. Do not talk on your cellphone on the train, because it may disturb other passengers. However, you can surf the internet.

充実した
解答例

教科書例文・日本語訳

LESSON 1

- ① I like cats very much. 私は猫がとても好きです。
- ② My uncle has two cars. 私の叔父は自動車2台持っています。
- ③ I usually get to school at 8:30. 私はほとんど毎日8時30分に学校に着きます。
- ④ My mother teaches biology at a high school. 私の母は高校で生物を教えます。
- ⑤ I'm writing an essay for my English class. 私は英語の授業のために作文を書いているところです。
- ⑥ I think my cat is getting fat. 私の猫は太ってきていると思います。
- ⑦ My grandmother is visiting us tomorrow. 私の祖母が明日私たちを訪ねてきます。

LESSON 2

- ① My father looked tired after the long drive. 私の父は長時間の運転のあとで疲れているように見えました。
- ② I went to see a movie last Sunday. 私はこの前の日曜日に映画館に行きました。
- ③ I was taking a nap around 2:00 p.m. yesterday. 私は昨年午後2時ごろ寝落ちしていました。
- ④ My mother was wearing sunglasses on the beach. 私の母は海でサングラスをかけていました。
- ⑤ The sun was setting when we arrived at the beach. 私たちが浜辺に着いたとき、太陽は沈みつつありました。
- ⑥ I used to spend my summer vacation with my cousins. 私は小さい頃から夏休みを過ごすことができました。
- ⑦ There used to be a park next to my cousins' house. いたが家の隣の公園には以前、公園がありました。

LESSON 3

- ① I'll do my homework after dinner. 宿題は夕食のあとです。
- ② The coach will be back in ten minutes. コーチは10分後に戻ってくるでしょう。
- ③ I'm going to join the badminton club. 私はバドミントン部に入ります。
- ④ I'll be studying for the exam at this time tomorrow. 明日の今頃、私は試験勉強をしているところです。
- ⑤ We'll be staying here for a couple of weeks. 私たちはここに、3週間ほど滞在するつもりです。
- ⑥ We'll start the meeting when our teacher comes back. 先生が帰ってきたらミーティングを始めます。
- ⑦ If it rains tomorrow, we'll hold the ceremony in the gym. 明日雨なら、式は体育館で行います。

LESSON 4

- ① I've already booked a train to Kyoto. 私はすでに京都行きの列車を予約しました。
- ② My mother has returned from her business trip. 私の母は出張から戻ってきました。
- ③ I've visited the British Museum once. 私は以前大英博物館を一度訪れたことがあります。
- ④ Have you ever been to a foreign country? あなたは今までに外国に行ったことがありますか。
- ⑤ I have wanted to go to Paris since I was little. 私は小さいころからパリに行きたいと思っています。

例文音声は、
音声再生アプリ
「いいずなボイス」対応

LESSON 8 副詞句

教科書 pp.54-55



A 不定詞 (副詞用法)

pp.203-208

- ① What do you think about building a time machine **to learn** about the future?
(未来について知るためにタイムマシンを作ることについてどう思いますか?)
 - ② We were surprised to **find** a time capsule in the school ground.
(私たちは校庭に埋めたタイムカプセルを見つけました)
- ◎ 不定詞を使って、目的や結果、感情の原因や判断の根拠を表すことができる。
- ▶ You have to take the test in **order** to study abroad. (目的)
 - ▶ I woke up to **find** my cat sleeping next to me. (結果)
 - ▶ She was very kind to **show** me the way to the station. (判断の根拠)
- ◆ (to have + 過去分詞) で過去の行為や状態を表すことができる。
- ▶ I'm sorry to **have missed** your call.
- ◆ (It is + 人の性質を表す形容詞 + of + 人 + 不定詞) : 「～するとは人は…だ」
- ▶ It was careless of you to **leave** the door unlocked. (▶ You were careless to **leave** ...)

B 不定詞を使う表現

pp.210-213

- ① Some of the problems we face today are hard to **solve**.
(今日私たちが直面している問題のいくつかは、解決するのが難しいです)
 - ② The temperature will be **too high** to live in those regions.
(それらの地域では気温が高すぎて住めなくなるでしょう)
 - ③ Medicine will be advanced **enough** to cure many diseases.
(医学は、多くの病気を治療するのに十分な発展を遂げているでしょう)
- ◎ (難易度を表す形容詞 + 不定詞) : 「～するのが…」(文の主語が不定詞の目的語のはたらきをする)
- ▶ The magic is **easy** to master. 「～するのは易い」
- ◎ (too + 形容詞 / 副詞 + 不定詞) : 「～するには…すぎる」
- ▶ The problem is **too complicated** for me to explain. (不定詞の意味上の主語 (for ~ to ...))
(不定詞の目的語が主語になるときは、不定詞のあとに目的語は入れない)
- ◎ 形役語 / 副詞 + enough + 不定詞 : 「～するのに十分」
- ▶ He explained clearly **enough** for us to understand. (for ~ to do 「～が…するのに」)

C 分詞を使う表現

pp.279-284, 288-290

- ① **Written** in an unknown language, the letter was impossible to read.
(知らない言語で書かれていたので、その手紙を読むことはできませんでした)
- ② **Reading** a science fiction book, I came up with a new idea.
(SF小説を読んでいるとき、私は新しいアイデアを思いつきました)

- ◎ 分詞を使って、時・理由や、付帯状況(同時・連続・結果)を表す。
- ▶ **Saying** goodbye, he walked away. 「～して」(連続)
 - ▶ A hurricane hit the area, **causing** great damage to crops. 「～して」(結果)
 - ▶ **Being** tired, I went to bed early. 「～なので」(理由)
- ◆ 理由を表すことより目的のことは完了形の分詞(having + 過去分詞)を使って表す。
- ▶ **Having studied** hard, I did well on the test. 「～したので」(理由)
- ◆ (with + 名詞 + 分詞 / 形容詞 / 副詞) の形でその時点の状況を表す。
- ▶ She told me the story with **her eyes shining**. (with + 名詞 + 現在分詞)
 - ▶ He listened to me **with his eyes closed**. (with + 名詞 + 過去分詞)

22

EXERCISES 副詞句

- 1 日本語に合うように () 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。
- (1) 私は私に会うためにロシアから来た。
(see / came / to / Russia / he / from) me.
- (2) ケビンが弟が試験に受かったと聞いて喜びました。
Kevin was (that / his brother / hear / passed / delighted / had / to) the exam.
- (3) その少女は成長して世界的に有名な俳優になりました。
The girl (a / to / up / he / grew / world-famous / actor).
- (4) その洞窟に1人では入るとは、君は勇敢だった。
(brave / the cave / you / to / into / were / go) alone.
- (5) その問題にそんな独特の解決法を思いつくとは、あなたは賢いです。
(you / it / of / to / clever / come / up / is) with such a unique solution to the problem.
- 2 日本語に合うように、空所を補い、英文を完成させなさい。
- (1) リックの説明はとも理解しやすかったぞ。
Rick's explanation was very _____.
- (2) このソフトウェアは、私に使うには難しすぎます。
This software is _____ use.
- (3) このリュックサックは私の船が運ぶのに十分軽いです。
This backpack is light _____ carry.
- 3 日本語に合うように、空所を補い、英文を完成させなさい。
- (1) 宇宙から見ると、地球はとても美しい。
() from the space, the earth is very beautiful.
- (2) 私は明かりを消して、それからその部屋を出ました。
() off the light, I left the room.
- (3) ロンドンに2年間住んでいたのは、私はその街には詳しいです。
() () in London for two years, I am familiar with the city.
- (4) 父は玄関で腕組みして私を待っていました。
My father was waiting for me at the entrance () his arms ().
- 4 [] 内の語句を参考にして、日本語に合う英文を完成させなさい。
- (1) 他文化を理解するためには、偶然私は昔の成績表を見つけた。[accidentally]
What is _____ cultures?
- (2) 自分の部屋の掃除をして、偶然私は昔の成績表を見つけた。[accidentally]
Cleaning _____ my old report card.
- (3) 私は忙しすぎて今週末どこにも行きません。(学習院大)
I'm too _____.

23

4 比較表現、仮定法、時を表す表現



A 比較級・最上級を使う表現

pp.368-381

- ◎ 比較級を使う表現
- ▶ This project is all the more difficult for its huge cost. (all the + 比較級) 「それだけいっそう」
(このプロジェクトはコストが莫大なのでいっそう困難だ) ⇒ for, because で理由を加える。
 - ▶ They were more disappointed than angry. more B than A [Aとどういっすりむる B]
(彼らは怒ったというより失望していた) ⇒ 形動・形容詞も er して more ~ とする。
* not so much A as B [Aとどういっすりむる B] (AとBの順序が逆なので注意)
 - ▶ It takes no more than 5 minutes from Ueno to Tokyo by train. (no more than + 数量)
(上野から東京まで、電車でたったの5分だ) 「たった～、～だけ」(≪ only)
 - ▶ I don't have more than ~ 「～より多くない」 ⇒ 「せいぜい～」(≪ at most)
 - ▶ My uncle always gives me no less than 10,000 yen as a New Year's gift. (no less than + 数量)
(おじは毎年私にお年玉を10,000円もくれる) 「～ほど多」(≪ as much [many] as ~)
 - ▶ I can't afford a bicycle, much less a motor bike. much less ~ (否定文のあとで)
(私は自転車を買う余裕はないし、ましてバイクは買えない) 「まして～はない」
- ◎ 最上級を使う表現
- ▶ This is a second-rate restaurant at best. at best 「最高でも、せいぜい」
(これはひどい目に見ても2次のレストランだ)
 - ▶ That film director was at his best in the 1990s. at one's best 「最高の状態で、最盛期で」
(あの映画監督は1990年代の最盛期だった)

EXERCISES 1

- 日本語に合うように、() に適語を入れなさい。
- (1) 彼はショックを受けたというよりもむしろがっかりしていた。
He was () () () shocked () amused.
He was () amused () shocked.
- (2) リンダは1週間に少なくとも3冊は本を読む。
Linda reads () () () three books a week.
Linda reads () () () three books a week.
- (3) 昨日はイチゴを20個も食べた。
I ate () () than 20 strawberries yesterday.
I ate () () as 20 strawberries yesterday.
- (4) このホテルは駅に近いので、それだけいっそう便利だ。
This hotel is () the () convenient () it's located near the station.
- (5) 彼はせいぜい平均的な卓球選手といったところだ。
He's an average ping pong player () () ().
- (6) ベンは日本語を勉強し始めたばかりだ。ひらがなが読めないので、まずは漢字は読めない。
Ben has just begun studying Japanese. He can't read hiragana, () () kanji.

34

B 仮定法を使う表現

pp.404-407

- ◎ were to / should
- ▶ What would you do if you were to receive a million dollars? if S were to 「もし～する(もし百万円を受け取るようなことになったら、あなたはどしますか) ようなことになることがあれば」
 - ▶ If you should miss the train, please call me. if S should to 「～することがあるれば」
(列車に乗り遅れるようなことがあれば、私に電話してください)
 - ▶ should は少しの可能性があることを表すので、主語は命令文や (will + 動詞の原形) が多い。
- ◎ if のない仮定法
- ▶ Were it not for this forest, many animals would lose their habitat. (= If it were not for ...)
(この森がなければ、多くの動物が生息地を失うだろう)
 - ▶ if を使わず、were を文頭に出して仮定の意味を表すことができる。
 - ▶ Had I studied Japanese history harder, I could better enjoy this tour of Kyoto. (= If I had ...)
(日本史をもっと一生懸命勉強していたら、この京都旅行をもっと楽しめるのに)
 - ▶ had ~ should も文頭に出して仮定の意味を表せる。

EXERCISES 2

- 日本語に合うように () 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。
- (1) きみが僕らの野球チームに入ってくれば、チームは限りなく強くなるだろう。
(you / our baseball team / were / join / to / if), it would be the strongest in the prefecture.
- (2) あの事故がなかったら、彼女は今ごろプロのサッカー選手になっているだろうに。
(been / not / if / for / had) that accident, she would be a professional soccer player now.

C 時を表す表現

pp.438, 643

- ◎ every [each] time
- ▶ Every time she remembers her grandmother, she is moved to tears. every [each] time ...
(彼女は祖母を思い出すたびに、心を動かされて涙を流す) 「～するたびに」(接続詞的に)
- ◎ 「～するとすぐに…した」
- ▶ I had hardly gotten on the train when the doors closed. (had hardly + 過去分詞 + when ...)
(私が列車に乗り込むとすぐにドアが閉まった) 「～するとすぐに…した」
 - ▶ hardly の代わりに scarcely. when の代わりに before も使う。
had no sooner + 過去分詞 + than ... も同じ意味。

EXERCISES 3

- 日本語に合うように、[] 内の語句を参考にして英文を完成させなさい。
- (1) あの歌を聞くたびに、私は親友のことを考える。[every year]
_____ my best friend.
- (2) 私が寝ようとしたとたん、雷が鳴り始めた。[hardly, when it]
I _____ to thunder.

35

3

学校生活について話す一助動詞

単語集 p.122-123
単語集 p.122-123

1 下線部とはほぼ同じ意味の語句を下の(a)~(e)より選びなさい。

- I have to hand in this report by next Monday. (1) ()
 - Ellie is going to take part in the golf tournament next weekend. (2) ()
 - We have a dance lesson once a week. (3) ()
 - Henry has to quit the swimming club because of injury. (4) ()
 - What do you want to major in in college? (5) ()
- (a) specialize in (b) leave (c) participate in (d) take (e) turn in

2 日本語に合うように、() に適語を入れなさい。

- 音楽室でピアノを弾いている女の子はメイにちがいない。 () May. **B**
- 私は今日、ひどい頭痛のため、早退しなくてはならなかった。 I () () leave school early today because of a bad headache. **A**
- トムはさっき学校に行つて、まだそこにいるはずだ。 Tom went to the school cafeteria a little while ago and he () still be there. **B**
- 英語の教科書が見つからない。家に置き忘れたのかもしれない。 I () find my English textbook. I () () () it at home. **A C**

3 各組の英文がほぼ同じ内容になるように、() に適語を入れなさい。

- Mr. Green spoke so fast that I couldn't take notes. Mr. Green spoke so fast that I () () () take notes. **A**
- It's impossible for Leo to have made such a simple mistake. Leo () () () such a simple mistake. **C**
- Don't use the gym this afternoon. You () () use the gym this afternoon. **A**
- You don't need to attend P.E. class if you feel unwell. You don't () to attend P.E. class if you feel unwell. **A**
- Ms. Koga, could you tell me where to park my bicycle? Ms. Koga, could you tell me where I () park my bicycle? **A**

4 日本語に合うように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

- きみならきっと道試に合格できるよ。(able / pass / will / you / to / be) the makeup exam. **A**
- アンは遅刻だ。彼女の電車が遅れたにちがいない。 Ann is late. (been / train / delayed / have / her / must). **C**

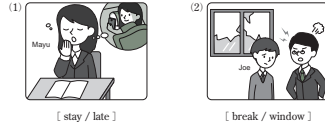
- たった今、岡先生を体育館で見たから、先生は職員室にいるはずがない。(the teachers' office / cannot / in / because / Mr. Oka / be) I saw him in the gym just now. **B**

- 運動会は雨のせいで延期されるからしない。(Sports Day / put / of / be / might / off / because) the rain. **B**

5 下の [] から適切な語を選び、空所に書き入れなさい。ただし同じ語は2度使えない。

- A: Do you know where Lisa is?
B: I don't know, but she is be on the tennis court. She's been practicing a lot lately.
A: Yeah, especially since she lost the final match last fall. She probably feels she has have practiced harder before the match.
B: She is feel that way. She did her best. She was just unlucky. She is surely win the next tournament.
[will / shouldn't / might / should]

6 イラスト中の生徒について、[] 内の語を参考にして、「~しにちがいない」と過去の行動を推測する英文をつくりなさい。



- _____ [stay / late] **C**
- _____ [break / window] **C**

7 日本語に合うように、[] 内の語句を参考にして、英文をつくりなさい。

- 少しの間、きみの電子辞書を使ってもいいかな。[electronic] **A**
Can _____ for a while?
- 私は今朝、朝食をとるべきだった。[eat] **C**
_____ this morning.
- 私たちが下校するときまでに雨はやむはずだ。[by the time / get out of] **B**
It _____.

入試問題に挑戦 ②

1 () に入る最も適切な語句を①~④から選びなさい。

- You have to hurry because you don't have () time. (徳島大)
① many ② much ③ more ④ little
- I have () great news for you. (東京造形大)
① a ② some ③ many ④ several
- The theater is almost filled, but there are () seats left. (大正大)
① a few ② a little ③ no ④ many
- The guy () to us is my best friend. (神奈川大)
① waves ② waving ③ has waved ④ was waving
- The famous company () by the local government went bankrupt last month. (群馬県立女子大)
① run ② is run ③ running ④ was run
- The test result was (). (大阪学院大)
① to disappoint ② disappoint ③ disappointed ④ disappointing
- I () while watching the movie. It was not interesting. (金城学院大)
① bored ② boring ③ was bored ④ was boring
- Can I borrow something () with? (江戸川大)
① write ② writing ③ to write ④ written
- Many people think that studying abroad is the best way () learn a foreign language. (中部大)
① of ② to ③ for ④ in
- Emily lives in a house () is 100 years old. (京都先端科学大)
① how ② what ③ which ④ who
- The company seeks an individual () has excellent communication skills. (慶應大)
① which ② whom ③ in which ④ in which
- Please bring me the green file () you will find on my desk. (大阪経済大)
① what ② which ③ where ④ whatever
- The dishwasher () I bought yesterday has already broken down. (武蔵野大)
① whose ② who's ③ what ④ which
- Jade said she saw a movie last night, () was not true. (熊本県立科学大)
① which ② and ③ when ④ that
- This is the restaurant () we had lunch last week. (相洋女子大)
① which ② where ③ at where ④ on which
- The travel agent advised us to go in the winter, () the prices are lower. (目白大)
① when ② which ③ what ④ of which

2 下線部のうち、誤った英語表現を含むものを1つ選び、○を付けなさい。

- I'm sorry, but I feel a little confusing by what you've told me. (群馬大)
- Akira looked nice in a suit, what he surely wears at work. (名城大)

3 意味の通る英文になるように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

- I (more / make / phone call to / have / one) before I leave. (中部大)

- Kana: I haven't heard from Rei since he left for New York to study English. How about you?
Name: I (a / English / from / got / him yesterday / in / letter written). (愛知学院大)
- My sister shops too much, and she knows it.
She says, "I can't (buy / control / my desire / things / to)." (兵庫医療大)
- I have a (who / a strange / friend / had) experience. (大阪経済大)

4 日本語に合うように、() 内の語句を並べかえ、全文を書きなさい。

- 日本に住む外国人が急増している。(the number of foreigners / is / Japan / living / increasing / in) at a rapid rate. (十文字学園女子大)
- 盗まれた自転車は、駅の近くで見つかりました。(The bike / found / station / stolen / was / near / the). (産業能率大)
- この問題を解決するのに、3つ効果的な方法があります。(There (to / are / effective / three / ways / solve) this problem. (専修大)
- 私がクローゼットにしまっていた傘は壊れている。(The umbrella (in / that / I / stored / closet / the / is) broken. (東京経済大)
- カナダで撮った写真をあなたに見せましょう。(Shall I (in / took / show / the pictures / you) Canada? (産業能率大)
- これは昨年多くの賞を受賞した映画だ。(This (is / the / awards / that / many / won / movie) last year. (東京経済大)
- 僕が育った家では、いつもテレビがついていた。(I grew up (was / where / always on / a home / in / the television). (大阪学院大)

My English Portfolio II

LESSON
1

Your Interests

興味のあることについて話す

Vocabulary

()にあてはまる語を下から1回ずつ選んで入れ、表現を覚えよう。

- (1) 目標を達成する () one's goal
- (2) 夢を実現する () a dream
- (3) ~に興味がある () in ~
- (4) ~の影響を受ける () by ~
- (5) ~に夢中である () in ~
- (6) ~する意欲がある () to do

absorbed / motivated / achieve / realize / influenced / interested

Forms

(図 pp.18-19) 次の日本語を英語にしよう。

A 現在形・過去形

- ① 合唱部 (the school choir) は週に2回練習をしています。
- ② 私の姉は今、アルバイトを探しているところです。
- ③ ユリは冬休みの間にスキーに行きました。

B 完了形

- ④ ケイタはスピーチコンテストで優勝したことが2回あります。
- ⑤ ミキは小説を2時間読んでいます。
- ⑥ 私が家に着いたときには、家族はすでに夕食を食べ終わっていました。

C 未来を表す表現

- ⑦ 私は来月フルートのレッスンを受け始めるつもりです。
- ⑧ 私たちは8月に地元のお祭りに参加する予定です。

My Sentences

() の内容になるように、自分のオリジナル英文を作ってみよう。

- A くふだん~している (現在形)
- B ~したことがある (現在完了形)
- C ~することになっている (未来を表す表現)

My Essay

(図 p.20) グループのメンバーが興味をもっていることや、これまでに経験したことを聞いて、その人を紹介する文章を書いてみよう。

- 1. グループのメンバーが興味をもっていることについて聞いてメモしよう。
- 2. その人がこれまでに経験したことを聞いてメモしよう。

教科書の **WRITE** の活動をしながら書き込みできる学習ノート

●聞いたことをもとに、グループのメンバーをほかのグループに紹介する文章を書こう。
*経験について書くときは読み手がイメージできるように、詳しい情報を加えよう。

Blank writing area for the My Essay task.

Self-Check

My Sentences

主語と動詞はあるか	動詞の形は適切か	次のことが書かれているか
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

My Essay

<input type="checkbox"/>	グループの人が興味をもっていることが書かれているか
<input type="checkbox"/>	その人がこれまでに経験したことが書かれているか
<input type="checkbox"/>	紹介することができたか

LESSON
1

解答

Vocabulary

- (1) achieve (2) realize (3) interested (4) influenced (5) absorbed (6) motivated

Forms

- A ① The school choir practice twice a week.
- ② My (elder) sister is looking for a part-time job now.
- ③ Yuri went skiing during the winter vacation.
- B ④ Keita has won first prize in the speech contest twice.
- ⑤ Miki has been reading a novel for two hours.
- ⑥ My family had already finished eating dinner by the time I got home.
- C ⑦ I will start taking flute lesson next month.
- ⑧ We're going to take part in the local festival in August.

My Sentences (解答例)

- A • We practice tennis three hours on Saturdays.
• I often watch videos on my smartphone before going to bed.
- B • I have visited Tokyo National Museum several times to see traditional Japanese art.
• I have seen the film "Princess Mononoke" three times.
- C • I'm going to get a flu vaccination tomorrow.
• I'm going to finish my assignment by this weekend.

My Essay

(解答例1)

Hana likes to take pictures and post them on social media. On weekends she often goes out in order to take interesting pictures. She has even climbed to the top of a mountain to take photos of the beautiful scenery. She feels happy when she gets a lot of "likes" from the followers of her social media account.

(解答例2)

Nao likes playing the guitar. He has been to the several live performances of his favorite band. This motivated him to practice more. Now he belongs to a band and practices the guitar almost every day. His band is going to perform at the school festival in October.

解答例を複数掲載

Meeting People

自分のことを話す

Q: How does Mike get to school? - A: He (usually) takes the train.
 Q: How long does it take Mike to get to school? - A: It takes him about an hour.
 Q: Where does Shota live? - A: He lives nearby [near his school].
 Q: Does Mike enjoy taking the train to school? - A: No, he doesn't.

Start-Up ▶ 学校の近くで、登校中の Mike と Shota が会いました。

Start-Up ▶ の内容理解を
チェックする Q&A

Mike: Good morning, Shota!

Shota: Oh, good morning, Mike! Do you walk to school?

「徒歩で通学する」
習慣的な動作

Mike: No. **I live far from here**, so **I usually take the train**. It takes about an hour.

現在の状態

= (for Mike) to get to school

Shota: An hour? Wow! I live nearby, so I can walk to school. It only takes ten minutes.

(副詞) = near the school

It takes only ... の語順も可

Mike: **Oh, really!** You're lucky! I don't like the long train ride.

(名詞) 乗ること



Tips for Better Communication

相手からの問いかけに答えたら、もう1つ情報を加えましょう。会話にリズムが生まれ、その情報をもとにさらに会話を発展させることができます。



文法や語句の解説, 学習者がつまづきそうな表現のポイントを解説 (青字)

FORMS 現在のことは現在形で表す

現在のことを伝えるときには、**動詞の現在形**を使います。現在形を使うと、住んでいる所のような**現在の状態**や、**いつもすることを表す**ことができます。

「住んでいる」という日本語につられて、進行形にしないように、know や resemble などの状態動詞とあわせて注意する

I **live** far from here.

I **take** the train.

このような文の動詞の現在形が表すのは、「今」を中心として、過去から現在、そして未来へと広がる時の範囲です。Do you walk to school?であれば、今現在だけのことではなく、「いつも徒歩通学なの?」とたずねているのです。

これまでもそうだったし、これからも徒歩通学するということ

EXPRESSIONS あいづちで関心を示す

音声CDのトラック番号を掲載。なあいづちを打つことで、「そうなんだ!」と相手の話に関心をもっていることを示す。Really?なら「そうなの?」というニュアンスです。

「I got a new smartphone yesterday.」**Really?** The newest model?
語尾を上げて発音する

SOUNDS /l/と/r/の発音

/l/は舌先を上歯茎にあてて発音し、/r/は舌先をどこにもつけず舌全体をうしろに引いて発音します。lは日本語のラ行の音に近く、rは「ウ」と言うときのように唇をすばめたあと、舌を丸めて言う英語らしい発音になる

▶ live, lucky, like, long, play, usually, only, school / really, ride, from, train, friend, free, every light / right, lead / read, glass / grass, collect / correct 2行目はl/rのみが異なるミニマルペア

TALK

会話の内容を確認し、MikeとShotaになりきって会話をしてみよう!

通信・交通手段は (by + 無冠詞名詞)

Pick-Up

「(学校には) 電車で来ます」と言うとき、交通手段を表すbyを使ったI come to school by train. でも通じますが、**I take the train.** とすると英語らしい表現になります。バスや自転車ならI take the bus. / I ride my bike [bicycle]. という表現を使います。徒歩通学であればI walk to school. が自然な表現です。
= I come to school by bus. / I come to school by bike.

1-9
全例文

INTERACTIONS 自分のことや身近な人のことを話す

A 現在の状態を表す

現在形：状態動詞

- ① I **like** cats very much.
- ② My uncle **has** two cars.

現在時制では、三単現のsなど、述語動詞の形に注意させる

現在の状態を示す, haveの三単現

G-GUIDE

- ①「～が好きだ」「～だと思う」のように現在の心理的な状態を表すときは、動詞の**現在形**を使う。
love / think / believe / want / knowなど
- ②「～を持っている」「～に住んでいる」のように現在の状態を表すときも、動詞の**現在形**を使う。

haveを進行形にすると一時的な状態(「食べている」など)を表すので注意

1-11

CHECK イラストに合うように、与えられた動詞を使って英文を完成させよう(否定文にする場合もある)。



[resemble / like /
live / believe /
have / wear]
「(ペット)を飼っている」

I have a little brother and two sisters. My brother still **(believes)** in ghosts, so he **(doesn't like)** haunted houses. My sisters are twins and really **(resemble)** each other. **They** sometimes **(wear)** the same clothes. My grandfather **(lives)** in Okinawa. He **(has)** a dog and takes it for a walk every morning.

お化け屋敷(幽霊が化けて出る家)

「～の存在を信じる」
= twins
他動詞なので直後に目的語

「散歩に連れていく」cf. walk a dog

1-12

TASK ②上のCHECKを参考にして、自分の家族を紹介しよう。

CHECK (文法問題) の
解答を掲載 (赤字)

B いつもすることを表す

授業で学習者に伝えたい、
指導上のポイントなど (青字)

現在形：動作動詞

- ③ I **usually get** to school at 8:30.
- ④ My mother **teaches** biology at a high school.

「(場所)に到着する」。go toとの違いに注意

-chで終わる動詞には、-esをつける。発音にも注意

G-GUIDE

- ③繰り返すことや習慣になっていることを表すときは、動詞の**現在形**を使う。**usually**のような副詞を使うと頻度を表すことができる (always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
- ④職業や習性、話す言語などを表すときも、動詞の**現在形**を使う。

neverを使う否定文では動詞の形は三単現のまま
e.g. He never eats **natto**.
He doesn't eat **natto**.

1-14

CHECK 父親のことについて書いた高校生の文章を完成させよう。

My father **(works)** for a car company. He likes cars, but he rarely **(drives)**. He gets up very early in the morning and **(leaves)** home at seven. He **(takes)** the bus and the train to work. He usually **(comes)** home before dinner. He works very hard.

work for + 職場

gets / returns このhomeは副詞なのでto homeとしない

takeは目的語によって色々な意味になる。
e.g. take a bath [pictures / medicine / a chance / a break]

⇒ **ACTIVE LEARNING** の **WRITE** の活動 (p.24) で、**B** の表現を活用しよう。

1-21

VOCABULARY

- be good at (～が得意である)
- resemble (～に似ている)
- be a graduate of (～の卒業生である)
- come from (～出身である)
- walk to school (徒歩通学する)
- work for (～で働く)
- get up at (～時に起きる)
- brush one's teeth (歯を磨く)
- get dressed (着替える)
- have [eat] breakfast (朝食をとる)
- leave for school (学校に出かける)
- get to school (学校に着く)

I INTERACTIONS

A

CHECK: Complete the paragraph using the verbs in brackets to describe the illustrations. You may need to change the verbs into negative forms.

CHECKと**TASK**の指示文を英訳(紫字)指示文の英語音声は、指導用CDにも収録されています。

TASK: Introduce your family, following the example in the CHECK.

(Sample answer 1)

I have a little sister. She doesn't like vegetables, especially onions. She likes playing the piano. She loves to talk on the phone with her friends.

(Sample answer 2)

I have an older brother. He is a university student. He studies Japanese literature. He lives by himself in a college dorm. He comes home to visit the family during summer and winter vacations.

TASK(自由度の高い問題)の解答例を、複数掲載(ピンク字)

B

CHECK: Complete the paragraph below that describes the student's father.

VOCABULARYコーナーを充実させました。同義語・反意語・例文など、学習者の語彙力を伸ばすのに役立つ知識や表現、間違えやすい用例などを挙げています。

VOCABULARY

- **be good at** : ⇔ be poor [bad] at
He is good at cooking. / You are good at sports. / I'm not good at drawing.
- **resemble** : 他動詞なので前置詞は不要(× resemble to) cf. take after「(親・身内に)似ている」
His brown eyes resemble his father's. / This building resembles Tokyo Station.
- **be a graduate of**
She is a graduate of Oxford University. / They are graduates of the same university.
- **come from** : 出身を表す場合は通常現在形を使う
She comes from New Zealand. (× She came from)
- **walk to school** : (= go to school on [by] foot)
- **work for** : work at a company とも言うが、work for が最も一般的
- **get up at** : get up は「起床する」 cf. wake up「目を覚ます」⇔ go to bed「寝る」
- **get dressed** : (= put on)「着る」、wear「着ている」との違いを確認
- **have [eat] breakfast** : 語源は「断食(fast)を破る(break)食事」
- **leave for school** : leave school は「下校する / 学校を卒業[退学]する」
- **get to school** : (= reach [arrive at] school)

C

CHECK: Listen to the conversation and fill in the blanks.

TASK: Imagine that you and your partner are on the phone. Have a conversation like the one in the CHECK. The time of the conversation can be any time you like.

(Sample dialog 1)

A: What are you doing?

B: I'm not doing anything special.

A: Well, why don't you come over to my house? I just bought a new video game.

B: Really? That sounds great! I'll come over this afternoon.

(Sample dialog 2)

A: What are you doing?

B: I'm doing my math homework. It's due tomorrow, but the questions are really difficult.

A: Really? I haven't even started!

TASK の解答 (会話) 例を複数掲載 (ピンク字)

E-GUIDE

(Sample conversation 1)

A: I posted a video of my cat on social media, and it's gone viral.

B: Really? How many views did it get?

A: Several thousand. I was surprised.

「(ネットなどで)急速に広まる, バズる」
ウイルス (virus) のように広まることから

「(ウェブサイト・動画などの) 視聴 (回数)」

(Sample conversation 2)

A: I am going to quit the tennis club.

B: You're kidding! Why?

A: I have to go to cram school right after school.

E-GUIDE の表現を使った会話例を紹介

D

TASK: In pairs, talk about your plans for this evening or your plans for this weekend.

(Sample dialog 1)

A: What are you doing this weekend?

B: I'm visiting my grandparents. I haven't seen them for a long time.

A: That's nice.

(Sample dialog 2)

A: What are you doing after class?

B: I'm going to cram school.

A: Oh, what are you studying there?

B: I'm studying math.

V VOCABULARY

- **do club activities** : activities は「ある目的のために反復される一定の活動」の意味で、複数形で表すのが普通。なお運動部に言及するときは club よりも team を使うほうが一般的。 e.g. our soccer team
- **go to cram school** : cram は「詰め込み勉強」を表す名詞で、日本の学習塾・予備校は a cram school と言われることがある。「授業を受けに行く」場合は go to cram school と無冠詞にする
- **come [get] home** : (× come [go] to a [my] home)



C している最中のことを表す

現在進行形

- ⑤ I'm **writing** an essay for my English class.
 ⑥ I think my cat **is getting** fat.

F-GUIDE

- ⑤ している最中のことを表すときは、**現在進行形**(am/are/is + 動詞のing形)を使う。
 ⑥ 変化している途中のことや**一時的な状態**を表すときも、**現在進行形**を使う。alwaysやconstantlyなどを伴うと、(非難)や(不満)などの感情を含む
e.g. He is always complaining.
「彼は文句を言っばかりいる」
liveを進行形で使うと、一時的な居住地を表す
e.g. Right now, my sister is living in the US.

CHECK 2人の会話を聞いて、空所を埋めよう。

Kenta and Andy are talking on the phone.Kenta: What are (you) (doing)? = by phone

Andy: (I'm) (making) a poster for my presentation. I have to finish it tonight, but I'm (getting) tired.

Kenta: That's too bad. Tom and I (are) (playing) games online now, but we can help you.

Andy: Really? That's very kind of you!
and Tom とは言わない 主語は複数なのでare(×am)
 (×for)=You are very kind!

TASK 上のCHECKの会話を参考にして、電話をかけているという設定で会話をしてみよう。その際、時間帯は休日や夜など自由に設定しよう。

E-GUIDE

相手の発言内容に対して感じたことをあいつちで表現しよう。

- ・ I see. (なるほど) ・ Yes, indeed. (確かに) ・ I think so, too. (私もそう思います)
- ・ I can't believe it! (信じられない!) ・ Really? (本当?) ・ No way! (ありえない!)
- ・ That's nice [good / great / wonderful / fantastic]! (すばらしい!) ・ That's too bad. (それはお気の毒に)
- ・ I'm sorry to hear that. (それは残念です) ・ You're kidding! (冗談でしょ!) ・ Are you serious? (本当に?)

相手の個人的な経験や意見を指す(× It's too bad.)

D これからの予定を表す

現在進行形：予定

- ⑦ My grandmother **is visiting** us tomorrow. 進行形のほうがbe going to doよりも確定の度合いが強く、準備もできている状態

F-GUIDE

- ⑦ これからしようとしている個人的な**予定**を表すときに、**現在進行形**を使うことができる。現在形を使ってこれからの予定を表すこともある。
come, go, start, arrive, leaveの現在形は、未来を表す副詞(句)を伴って確定している(公式の)予定を表す
e.g. The express train leaves at noon.

TASK 今日午後、または週末の予定について会話をしてみよう。

例 A: What are you **doing** after class?B: I'm **meeting** Chris to talk about our plan for this weekend.A: Are you **going** somewhere?B: Yes. We **are going cycling**.
somewhere は(副詞)(× going to somewhere)
 娯楽・スポーツをするとき cf. go fishing / go shopping / go swimming

- ・ do club activities (部活動をする)
- ・ go to cram school (塾に行く)
- ・ come [get] home (家に帰る)
- ・ a haunted house (お化け屋敷)

Self-Check (できることに✓を入れよう)

- A 現在の状態を表すことができる。
- B いつもすることを表すことができる。
- C している最中のことを表すことができる。
- D これからの予定を現在進行形で表すことができる。

ACTIVE LEARNING

Introducing Yourself



SHARE クラスメイトのことを紹介しよう

1-22

① クラスメイトにインタビューして情報を集めよう。

例 Which junior high school did you go to?

How do you come to school? → I take a bus [a train]. / I walk to school.

手段・方法を表す「どうやって」

What do you do in your free time? → I usually draw pictures or watch movies (in my free time).

What is your favorite sport [food/color]? → My favorite sport [It] is basketball. / (I like) basketball.

1-23

② インタビューしたクラスメイトのことをメモしよう。

_____ go-went-gone
went to _____.

He/She _____ to school.

He/She _____ in his/her free time.

His/Her favorite _____.

インタビューする相手にはyouを使うが、その内容を人に伝えるときはhe / sheが主語。動詞は3単現になることに注意させる

1-24

③ グループになって、インタビューしたクラスメイトのことをほかの人に紹介しよう。

聞き手はそれぞれの発表について、感想を言ったり質問したりしよう。

SHARE Introduce one of your classmates.

① Interview and gather information about a classmate.

② Take notes on the classmate that you interviewed.

③ In groups, introduce the classmate that you interviewed. Other students can ask questions after each presentation.

1-25

WRITE 「朝の習慣」について書こう

— INTERACTIONSのBの文法を参考にする

① 自分が朝していることを書き出そう。

例 I **get** up at 6:00. I **get** dressed. I **eat** breakfast.

I **ride** my bike to school. It **takes** fifteen minutes.

「服を着る」= put on one's clothes
= go to school by bike [on my bike]. It takes ~ (時間・労力・勇気など) to do […するのに~かかる]

1-26

② 接続詞 (and, but, when) や副詞 (first, then) などを使って、時間の流れにそって自分の朝の習慣を文章にしてみよう。

例 I usually **get** up at 6:00. First, I **get** dressed and then **take** my dog for a walk. After that, I **eat** breakfast and **brush** my teeth. Then I **leave** for school at 7:15.

Iは繰り返さず省略 take ... for a walk […を散歩に連れていく]

(単数形) a tooth cf. a foot/feet leave (...) for ~ 「(…を離れて) ~に出発する」

e.g. The bus leaves Otaru for Sapporo at 9:35 a.m.

WRITE Write down your morning routine.

① List the things you do in the morning.

② Using conjunctions and adverbs, write a paragraph about your morning routine. Make sure that it is in chronological order.

SHARE と WRITE の指示文を英訳

Self-Check

インタビューしたクラスメイトを紹介することができた。③ ② ①
朝の習慣について、時間の流れにそって書くことができた。③ ② ①

③: よくできた。②: まあまあできた。①: あまりできなかった。

LOGICAL THINKING

自分のことを伝えるときに、I like playing the piano. I read many books.のように事実を並べるだけではつながりのない文章になってしまいます。I like playing the piano. I really love classical music.のように前の文につながるような情報を加えるなど、文と文の関連を意識して、まとまりのある文章にしましょう。



授業・指導内容に合わせて 自由に改変できる フレキシブルさが魅力

教科書の本文再生, SOUNDS・VOCABULARYのフラッシュカードなどの機能を収録。授業内容に合わせて, スライドを追加・削除することができるので, 生徒さんに適した効果的な授業ができます。

各レッスンの収録内容

各レッスン1枚目の目次のスライドから, 使用項目を選択できます。



● **Start-Up** : 導入の会話をカラオケ表示で確認できます (自動再生)。

● **TALK** : 冒頭の会話をネイティブスピーカーのあとに続いて練習 (Repeat) したり, ロールプレイング (Practice) したりできます。

● **SOUNDS/VOCABULARY** : 発音や単語をフラッシュカードで練習できます。スライドは3秒ごとに自動で切り替わります。

● **INTERACTIONS** : 基本例文と解説。CHECK/TASK 問題の解答が表示され, 音声を聞くこともできます。

● **ACTIVE LEARNING** : 教科書の自己発信質問とその解答例が表示されます。

指導者用「デジタル教科書(教材)」／ 学習者用「デジタル教科書(教材)」「デジタル教科書」

パソコンやタブレットで教科書を表示。拡大・書き込みなどの

目次を表示
教科書の目次に戻ります。

しおり
後から読み直したい頁に名前を付けて、しおりをはさむことができます。

頁の拡大・縮小
ピンチアウトまたはボタンで紙面を拡大することができます。

参考書リンク
総合英語beの該当頁のPDFが表示されます。

CHECK問題アイコン
アイコンをクリックするとポップアップ画面が開き、問題と解答が表示されます。

音声再生ボタン
ボタンをクリックすると、例文やリスニング問題の音声再生されます。

書き込み
ペン・マーカー・スタンプを使って、紙面に書き込みができます。

スクロールバー
頁の移動に使います。

教科書本文の抜粋:

① I like cats very much.
② My uncle has two cars.

①-GUIDE
①好きなものや思っていることなど、現在の心理的な状態を表すときは、動詞の現在形を使う。
②持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときは、動詞の現在形を使う。

CHECK イラストに合うように、与えられた動詞を使って英文を完成させよう(否定文にする場合もある)。

② I have a little brother and two sisters. My brother still () in ghosts, so he () haunted houses. My sisters are twins and really () each other. They sometimes () the same clothes. My grandfather () in Okinawa. He () a dog and takes it for a walk every morning.

TASK ②上のCHECKを参考にして、自分の家族を紹介しよう。

B いつもすることを表す **現在形・動作動詞**

③ I usually get to school at 8:30.
④ My mother teaches biology at a high school.

③-GUIDE
習慣になっていることを表すときは、動詞の現在形を使う。usuallyのような副詞を用いることができる(always > usually > often > sometimes > rarely > never)。
③通常などを表すときは、動詞の現在形を使う。
④書いて書いた高校生の文章を完成させよう。

③-GUIDE
相手の発言内容に対して感じたことをあいついで表現しよう。
- I see. (なるほど) - Yes, indeed. (確か) - I think so, too.
- I can't believe it! (信じられない!) - Really? (本当?) - No.
- That's nice. (good / great / wonderful / fantastic) (行きます)
- I'm sorry to hear that. (それは残念です) - You're kidding.

D これからの予定を表す

⑦ My grandmother is visiting us tomorrow.

⑦-GUIDE
⑦これからしようとしている個人的な予定を表すときは、現在形を使う。

TASK ⑦今日の午後、または週末の予定について会話をしよう。

⑦A: What are you doing after class?
B: I'm meeting Chris to talk about our plan.
A: Are you going somewhere?
B: Yes. We are going cycling.

VOCABULARY

- be good at (〜が得意である)
- resemble (〜に似ている)
- be a graduate of (〜の卒業生である)
- walk to school (徒歩通学する)
- work for (〜で働く)
- get up at (〜時に起きる)
- get dressed (着替える)
- have (eat) breakfast (朝食を食べる)
- leave for school (学校に出かける)

22



機能も充実

閲覧設定

紙面の配色や明るさなどを調整することができます。

本棚に戻る

Lentranceのトップ画面に戻ります。

最小化

デジタル教科書を最小化します。

別の本を開く

本棚に戻らずに、教科書や資料を切り替えることができます。

● デジタル教科書3種類

指導者用	学習者用	
<ul style="list-style-type: none"> ● アプリ版またはクラウド版 ● 校内フリーライセンス ● 利用期間：5年間 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラウド版のみ ● 1人1ライセンス ● 利用期間：2年間 	
 指導者用	 学習者用 教科書 (教材)	 学習者用 教科書
デジタル教科書 (教材)	デジタル教科書 (教材)	デジタル教科書

基本機能 (拡大・縮小、書き込みなど)	○	○	○
音声・スクリプト (Start Up, 基本例文、リスニング問題)	○	○	—
対応参考書 該当頁の表示	○	○	—
設問の 解答表示	○	—	—
利用方式	アプリまたは クラウド	クラウド	クラウド
納品形式	アプリ： DVD-ROM 納品 クラウド： ライセンス配布	ライセンス 配布	ライセンス 配布

アプリ方式とクラウド方式の違い

- ・アプリ方式：端末にビューアのアプリをインストールしてデジタル教科書を利用するため、オフラインでの使用が可能。iPadの場合、App Storeからアプリのダウンロードが必要。
- ・クラウド方式：Webブラウザを使ってデジタル教科書を利用するため、校内LANの環境が必要。端末にアプリをインストールする必要がありません。

動作環境

端末	アプリ方式	クラウド方式
Windows PC, Windowsタブレット	○ Windows 8.1以降	○ Chrome / Edge
iPad	○ iOS 12以降 / iPadOS	○ Safari
Chromebook	×	○ Chrome

総合英語 be 4th Edition



I と例文一致



平賀正子=監修/
鈴木希明=編著
A5判 704頁
定価1,870円
(本体1,700円+税)

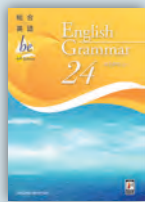
be English Logic and Expression I・II

Smart

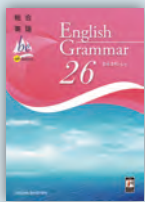
Clear



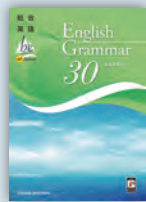
総合英語 be 準拠グラマー&ワークブック



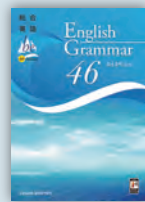
Grammar 24
B5判 / 120頁
定価770円
(本体700円+税)



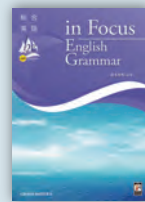
Grammar 26
B5判 / 128頁
定価781円
(本体710円+税)



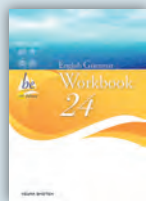
Grammar 30
B5判 / 128頁
定価781円
(本体710円+税)



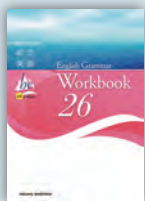
Grammar 46
B5判 / 136頁
定価792円
(本体720円+税)



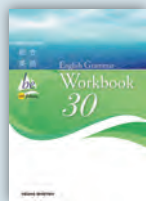
in Focus Grammar
A4判 / 104頁
定価803円
(本体730円+税)



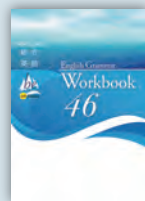
24 Workbook
B5判 / 88頁
定価583円
(本体530円+税)



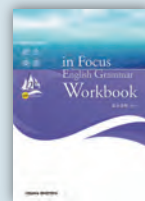
26 Workbook
B5判 / 88頁
定価594円
(本体540円+税)



30 Workbook
B5判 / 88頁
定価594円
(本体540円+税)



46 Workbook
B5判 / 96頁
定価605円
(本体550円+税)



in Focus Workbook
A4判 / 88頁
定価605円
(本体550円+税)

別売品 グラマー 解答・問題文訳 定価各110円 (本体100円+税) 付属品 ワークブック 解答・解説書
指導書 全グラマー共通 Teachers' Manual 定価1,100円 (本体1,000円+税)

導入教材



Base Builder Start up! 1, 2, 3
B5判 / 48頁
定価396円
(本体360円+税)
解答書付属



Base Builder
B5判 / 40頁
定価363円
(本体330円+税)
解答書付属



Endeavor Step by Step
B5判 / 96頁
定価506円
(本体460円+税)
解答書付属











Endeavor
B5判 / 40頁
定価363円
(本体330円+税)
解答書付属

復習教材



Discover
B5判 / 64頁
定価759円
(本体690円+税)
解答・解説書付属

	Clear I	Clear II	
指導用教材	指導資料セット (指導用パワーポイント含む) 	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：22,000円(本体20,000円+税)	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：29,700円(本体27,000円+税)
	Teacher's Book (朱書本) 	※上記②の単体での販売となります。 定価：3,850円(本体3,500円+税)	※上記②の単体での販売となります。 定価：4,400円(本体4,000円+税)
	指導書本冊 PDF 	※上記①のPDF版です。 定価：5,500円(本体5,000円+税)	※上記①のPDF版です。 定価：5,500円(本体5,000円+税)
	指導用音声 CD 	8枚組 収録内容：各課 Start-up/SOUNDS / 例文/TASK/CHECK/SHARE/ WRITE, 本課外頁 定価：16,500円(本体15,000円+税)	枚数：6枚組 収録内容：各課 Start-up/SOUNDS / 例文/TASK/CHECK/SHARE/ WRITE, 本課外頁 定価：16,500円(本体15,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [アプリ版] 	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ 定価：27,500円(本体25,000円+税)	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ 定価：27,500円(本体25,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [クラウド版] 	上記のクラウド配信版 定価：27,500円(本体25,000円+税)	上記のクラウド配信版 定価：27,500円(本体25,000円+税)
生徒用準拠教材	生徒用音声 CD 	2枚組 定価：550円(本体500円+税)	枚数：2枚組 定価：660円(本体600円+税)
	デジタル教科書 [クラウド版] 	収録内容：教科書と同じ 定価：1,100円(本体1,000円+税)	収録内容：教科書と同じ 定価：1,100円(本体1,000円+税)
	デジタル教科書(教材) [クラウド版] 	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ(解答は除く) 定価：2,200円(本体2,000円+税)	収録内容：教科書と同じ内容 +αのコンテンツ(解答は除く) 定価：2,200円(本体2,000円+税)
	問題集 書き込み式ノート 	Workbook I 定価：682円(本体620円+税)	Workbook II 定価：550円(本体500円+税)
		My English Portfolio I 定価：275円(本体250円+税)	My English Portfolio II 定価：242円(本体220円+税)
		Grammar Book I 定価：737円(本体670円+税)	Grammar Book II 定価：605円(本体550円+税)
Essential Grammar Book 定価：693円(本体630円+税)		—	

* Iの生徒用準拠教材問題集は、2023年11月1日から上記新定価になります。

be

令和6~9年度用
論理・表現 I・II
教科書
ダイジェスト版

English Logic
and Expression I・II
Clear



株式会社いずな書店 <https://www.iizuna-shoten.com>

TEL.03-5826-4370 FAX.03-5812-7030 〒110-0016 東京都台東区台東1-32-8 清鷹ビル4F

* 本冊子に掲載されているQRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
* 本冊子の内容は2023年4月現在のものです。掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。